



内容 34年度

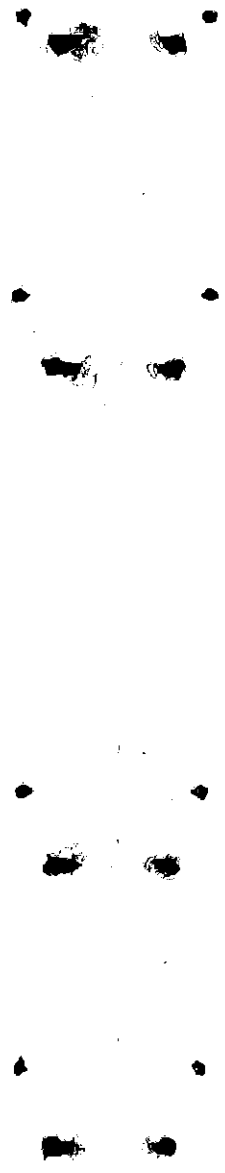
别 府

1 9 6 0

表紙写真……………志高湖

昭和34年4月 天皇、皇后両陛下を迎え植樹祭が行われたゆかりの地。

駅から1.8km バスで50分 標高650mの山中にある湖で周囲2km ハイキング、キャンプ、ローンスキー、冬はスキー、スケートを楽しませる高原として年々増える訪問者に親しまれている。



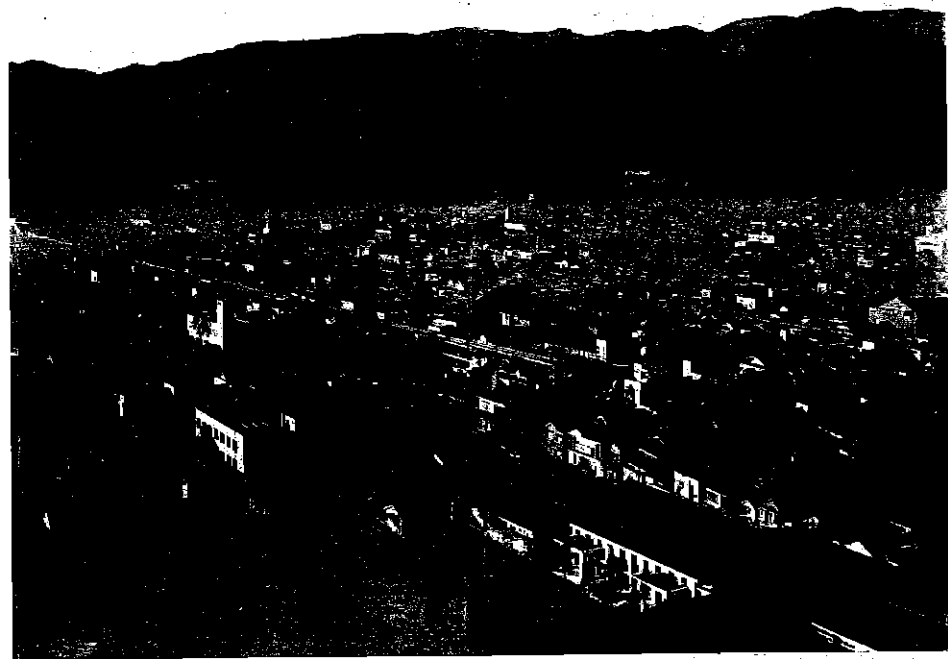
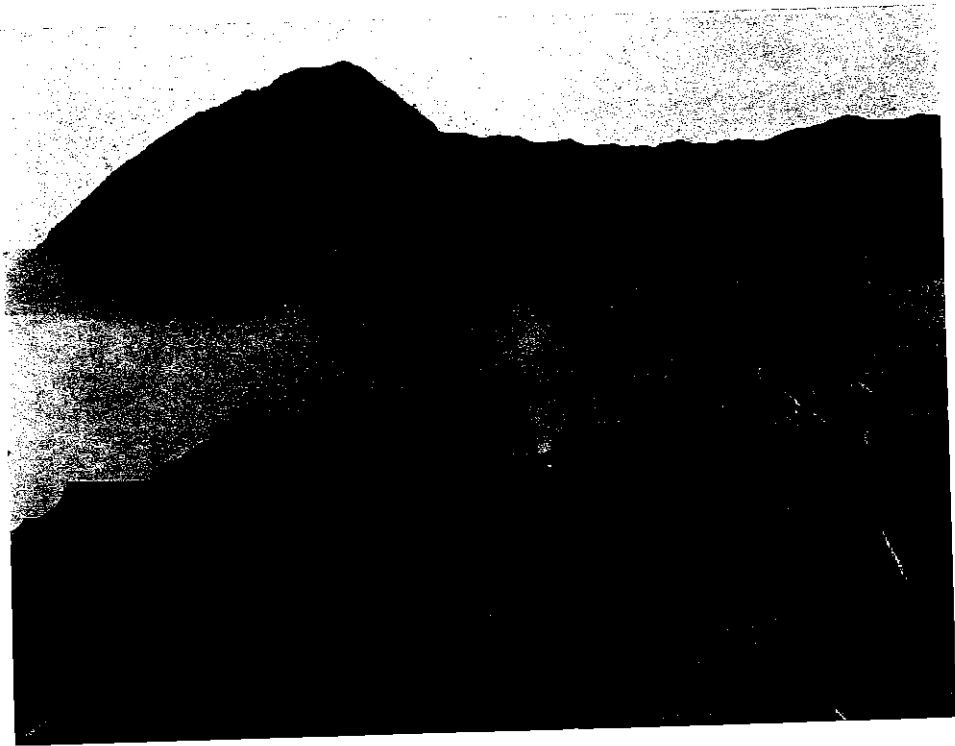
市 勢 要 覽



目 次

總 說	5
人 口	9
行 政	13
財 政	25
教 育 文 化	29
消 防	33
治 安	35
產 業	37
市 民 生 活	43
社 會	49
保 健 衛 生	53
運 輸 交 通	57
溫 泉	63
建 設	69
觀 光	73

別 府 市



発刊ごあいさつ

本市は大正13年4月市制施行後国際温泉都市として又観光文化都市としての各種観光施設も漸く充実し近郊町村の合併編入によつて逐次市勢の発展を見ました。その過程を紹介すると共に明日への大きな飛躍を備えた姿を皆様と一緒に振りかえつて別府を知り、別府を愛し別府の発展に心をお寄せいただくことが出来れば望外の幸であります。本書刊行にあたり貴重な資料の提供をいただいた方々の御協力に深謝いたします。

昭和35年4月1日



市長 荒金 進
 市長 山田 耕平



副市長 荒金 進



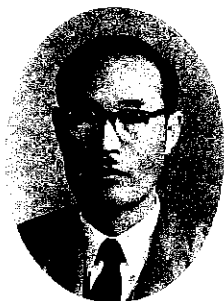
副市長 河村友吉



収入役 山田耕平



議 長 中村 弁助



副議長 河野賢次郎



開 催 中 の 市 議 会

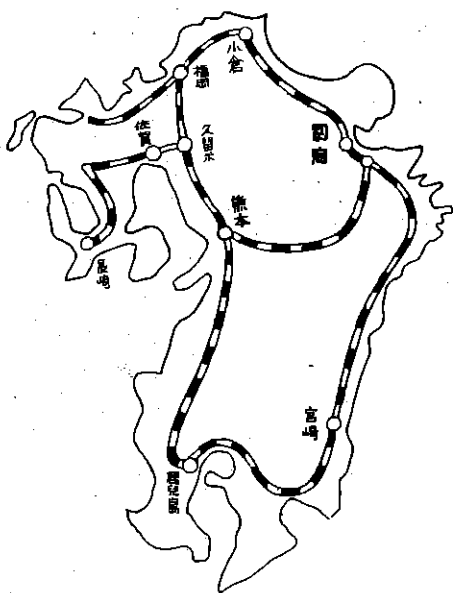


位 置 ・ 地 勢

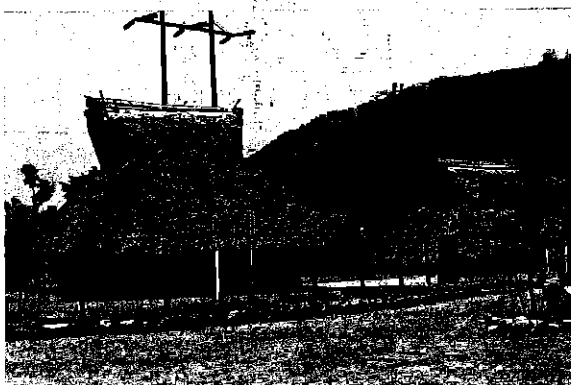
別府市は瀬戸内海の白波が西に尽きるところ、九州東海岸に面する大分県のほぼ中心に位置し、輪郭54km、南北14km、東西13km、海岸線9km、面積124km²を数えられている西は秀麗な由布、鶴見の連山を背にして、紺碧清らかな別府湾を前に南はヘルメット形のスロープを海に投ずる野嶽で有名な高崎山を大分市の境とし北は名所旧蹟豊かな国東半島が周防灘の寒風をさえぎる城風の如くに長く伸び別府の風光に一段の美をそえている。市の中心を形成するゆるやかな斜面は阿蘇火山脈の通過する健兒岳の山麓で、その敷度にわたる大小の爆発で志高湖、城島高台、観海寺、乙原高台、内山溪谷、十文字原など驚くべき大自然の景勝地をつくつたほか山麓や溪谷、海浜の至る所に無数の温泉を湧出し或は地獄となり、熱湯、熱気、熱泥を噴出してその凄絶奇観は別府の観光資源を提供している。別府温泉は細かく紹介すると浜脇、別府、観海寺、堀田、鉄輪、明礬、紫石、亀川の八つに分けられ別府八湯とも呼ばれている一大温泉郷を成して湧出口4,390余ヶ所一昼夜の湧出量72.156k^l(40万石)と推算され、世界薬剤学会の認定する良質11種類中の8種を保有し、温泉と共に風光の美は別府をして正に国際的温泉観光都市の名詞を冠せられるに至つたのである。又、悪まれた海陸空の交通は中国、四国、阪神方面に豪華船の航路を始め、九州主要都市との間には門司、宮崎を走る日豊線、久留米大分間の久大線熊本大分を結ぶ豊肥線など数々の鉄道によつて直結され加えて大阪、長崎方面には航空便が設けられるなど年を追うてその便利さを増している。

市 庁 位 置

市庁所在地	別府市大字別府100番地の1
東 経	131° 26' 56"
北 緯	33° 17' 12"



沿 革



別府市が極めて古い歴史をもっていることは、ドルメン、メンヒル、ストーンサークルなどの先史時代の巨石文化の遺蹟や国指定の遺蹟泉の岩屋古墳その他現に残されている各種の古墳や最近発掘された香木、実相寺の住居地などから見て明らかである。

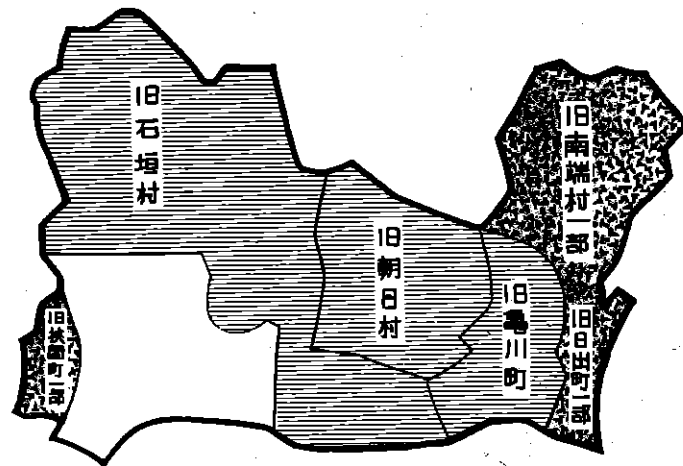
別府の地名の由来するところは国府に対する支府を意味するものと別符賜田の意味をもつものであるといふ二つの解釈がある。別府温泉のことは大巳貫命や少彦名命の事蹟と共に既に古く豊後風土記や伊予風土記に現はれており景行天皇紀には「速見邑に至る、女あり速津媛と曰ひ

一処の長となす、天皇の到るを聞き自ら親しく迎え奉る」とあり速見邑の内にあつた別府温泉地帯は景行天皇飛騨御西征の頃、速津媛の支配下にあつたようである。速見邑は郡県制の制定によって、速見郡と改められ、現在の別府市の地域は敵見の郷と称えられたが後に朝見郷と改めたのである。治承五年源頼朝が兵を挙げるや弟の頼朝は平家追討のため立石城に入城したが頼朝は建久七年三月十日庶子大友左近將監能直を豊前豊後の守護職兼鎮西奉行として派遣した、能直は千八百の部下を従えて別府市浜に上陸し立石城に入った。これが豊後に頼を称えた大友氏の祖である。後大友氏三代の国主兵庫藤頼奉は文永、弘安の役に勇名を馳せたが入道して道忍と改めてこの戦で傷ついた勇士済生のため明凡 鉄輪、浜脇などの温泉場を改修して療養所を作つたものでこれが我が国優秀軍人温泉療

養所の始まりであろう。元禄七年貝原篤信は豊前豊後を巡歴して「豊国紀行」をあらはしその一節に「別府は石垣村の南に在り町にして民家百軒許り、民家の中には温泉十ヶ所あり何れもきよし云々」と誌している。文化七年二月には伊能忠敬来て流川通り角に元標を建て、江戸日本橋より三百六十三里と記した。明治になるや白田県に属し別府支庁が置かれ、県知事松方正義の治下に入った。明治二十一年町村制施行と共に自治体をしき、明治三十九年別府、浜脇兩村合併して別府町と改称された。其の後、市区改正、上水道設備、温泉場の改善等が行はれ漸次近代都市の形を整え大正十三年市制を施行し、昭和三年春中外産業大博覧会を社会事業として開催し大盛況を極め昭和十年九月隣接亀川、朝日、石垣の一町二村を吸収して大別府市を形成するに至つた。

昭和十二年には国際温泉観光大博覧会を開催して温泉の宣伝と観光客誘致に努めた戦災を免れた別府市は終戦後愈々名声を高め昭和二十五年には別府国際観光温泉文化都市建設法の成立公布を見るに至り越えて昭和二十六年には国際観光港建設の礎石が市長の手によつて現場海中に投下され着々工事は完成の一步手前であり一方観光港を起点とする九州横断国際観光ルートも半ば工成り観光施設の充実と共に国内各地よりの観光浴客は勿論、アメリカ、ハワイ、インド、イタリヤ等其の他諸外国より別府を訪れる客は累年多きを数えるに至つた。昭和三十一年四月隣接日出町挾間町の一部を編入し、行政区域は益々拡大し明けて昭和三十二年三月には別府温泉観光産業大博覧会を開催、国内産業はもとより科学の粋を集め別府市が誇る温泉観光施設と共に観る者を感嘆せしめたものである。昭和三十三年四月八日別府三勝の一つである志高湖畔に於いて天皇皇后両陛下の行幸啓のもと植樹行事が盛大に挙行され、両陛下御手植の光栄に浴した。景勝につく温泉と観光施設は益々別府をして国際観光都市としての偉大なる将来を約束されつゝ悠久尽きぬ天与の温泉と共に発展の一途をたどり躍進しているのが別府の姿である。




市 域 の 移 り 変 り



合併編入年	合併、編入地域名	合併編入後の校区	各併編入区域の面積
昭10.9.4合併	旧 別 府 町	龜 川	21.86平方軒
〃 〃	龜 川 町	龜 川	13.74
〃 〃	朝 日 村	朝 日	18.60
〃 〃	石 垣 村	石 垣	53.70
昭31.4.1編入	挾 間 町 の一部	運 田	1.29
〃 〃	南 端 村 の一部	龜 川	14.88
〃 〃	日 出 町 の一部	龜 川	0.80
計			124.873



凡 例

-  大正13年市制施行当時
-  昭和10.9.4合併
-  昭和31.4.1編入

面積

面積	124,873Km ²	南北	14Km
東西	13 Km		
東極	別府市大字浜脇下鉄帯		
西極	別府市大字東山字西裏野		
南極	別府市大字内成字アライ		
北極	別府市大字南畑字木ノ根原		
大字数	15	行政区数	117

気温

気温		結霜		降雪	
最高	最低	初	終	初	終
34° C	-3° C	昭 33.12.1	昭 34.3.15	昭 34.1.14	昭 34.3.14

(京大地球物理学研究所調)

天気

昭 34.1 ~ 12

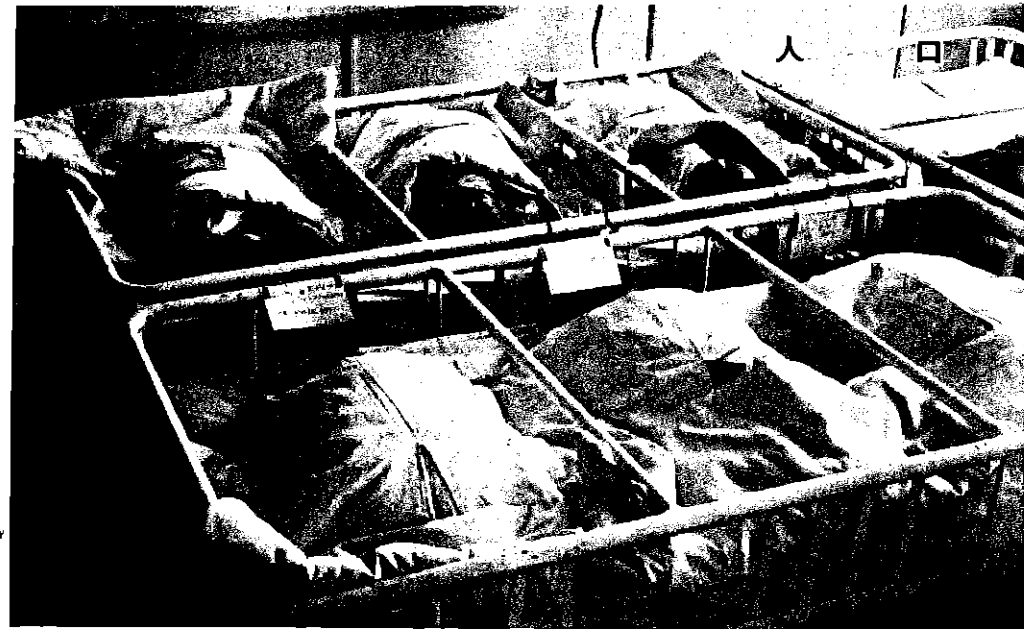
快晴	晴天	曇天	降雨	降雪	霧
55日	133日	152日	155日	8日	106日

※天気は降水の有無に関せず曇量により全日の平均曇量2未満なるときはその日を快晴とし曇量7以上なるときは曇天としその他を晴天とす降雨の日数は降雨量の0.1mm以上の日とする
(京大物理学研究所調)

気象細別

区分 月別	気温			降水		日照時		気圧平均 mmHg	湿度平均
	平均	最高極	最低極	総量	日数	総量	日照率		
昭 34.1	5° 31c	18° 6c	-3° 6c	43.85mm	16日	148.69h	46.6%	758.84	76.5%
2	9° 21	16° 7	-1° 1	86.35	15	71.51	23.1	759.19	86.0
3	10° 56	22° 4	0° 7	141.90	13	163.13	44.0	759.11	79.7
4	21° 76	30° 2	13° 3	173.25	16	189.07	44.5	749.25	86.6
5	18° 48	28° 8	10° 1	208.60	16	167.92	39.4	753.04	86.9
6	14° 48	23° 3	5° 9	181.95	10	161.97	41.7	754.31	83.9
7	26° 04	34° 3	21° 1	240.78	22	138.64	32.0	749.92	92.7
8	26° 54	34° 0	20° 0	390.15	11	169.88	41.0	748.84	89.5
9	24° 50	33° 4	14° 5	128.80	12	160.05	43.2	751.76	85.8
10	18° 52	26° 8	9° 8	116.60	10	146.41	41.6	756.31	85.5
11	14° 40	25° 7	6° 0	144.80	15	132.72	42.6	758.28	84.0
12	9° 58	19° 8	0° 3	92.60	2	125.64	40.3	760.02	79.0

(京大地球物理学研究所調)



人口と世帯

昭年30年10月1日に実施された国勢調査によると本市の人口は102,330、世帯数24,417であつたがその後昭和31年4月隣接町村の一部を合併し人口104,178、世帯数24,731と修正され大分県人口の約8%に及び面積124,873Km²大分県面積の約20%を占めるに至つた。

年次	世帯数	人口			1世帯当り 人口	1Km ² 当り 人口	市域 面積
		男	女	計			
昭 30	24,417	45,845	56,485	102,330	4.2	948.4	107,903Km ²
31	24,954	47,312	57,314	104,626	4.2	837.9	124,873
32	25,902	49,668	59,941	109,609	4.2	877.8	"
33	26,579	50,363	60,119	110,482	4.1	884.8	"
34	27,147	51,315	60,038	111,353	4.1	891.7	"

(昭30国調人口、昭31以降自登人口)

年齢別人口及び配偶関係

年齢	総数	男	女	男				女					
				未	有	死別	離別	未	有	死別	離別		
0 ~ 14	29,986	15,208	14,778	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ~ 29	28,524	11,458	17,066	8,641	2,733	3	72	1,155	4,924	129	462		
30 ~ 44	20,556	8,610	11,946	475	7,796	113	226	922	8,545	1,517	962		
45 ~ 59	14,286	6,514	7,772	71	5,916	363	164	122	4,944	2,309	397		
60 ~ 74	7,524	3,516	4,008	21	2,891	547	57	29	1,420	2,426	123		
75 ~	1,454	539	915	1	324	702	7	5	83	817	10		
計	102,330	45,845	56,485	9,209	19,660	1,728	526	2,239	19,926	7,198	1,954		

(昭30国調資料)

15才以上労働力人口

昭 30 国調資料

	総 数	性 別	
		男	女
15才以上人口	72,344	30,637	41,707
労働力総数	44,973	24,992	19,981
就業者総数	43,356	23,988	19,368
従業中	42,294	23,219	19,081
休業中	1,062	775	287
完全失業者	1,617	1,004	613
非労働力	27,371	5,645	21,726
不詳	0	0	0

国籍別人口

昭 35.2.10 現在

国 名	ブラジル	カナダ	中国	インドネシア	イタリア	朝鮮	韓国	フィリピン	スペイン	スイス	ソ連	アメリカ	無国籍	合計
計	1	1	10	1	6	668	40	1	1	1	2	23	2	757
男	0	0	5	0	2	357	23	0	1	0	2	11	1	402
女	1	1	5	1	4	311	17	1	0	1	0	12	1	355

年次別人口動態

区 分	年 別	出 生			死 亡			婚 姻	離 婚
		男	女	計	男	女	計		
昭	30	867	767	1,634	620	457	1,077	685	155
	31	630	645	1,275	447	423	870	630	121
	32	551	599	1,150	473	443	916	612	137
	33	651	604	1,255	573	488	1,061	713	116
	34	683	647	1,330	479	337	816	723	140

市内学校区別及町内別人口世帯

昭 34.4.1 現在

校 区	町 名	世帯数	人 口			班 数	校 区	町 名	世帯数	人 口			班 数	
			男	女	計					男	女	計		
野 口 校 区	天満	582	1,060	1,073	2,133	30	南 校 区	住吉	188	328	439	767	9	
	上野	353	637	769	1,406	18		松原	331	630	782	1,412	22	
	東野	245	423	520	943	15		向浜	224	390	465	855	11	
	南野	193	373	455	828	21		向浜	252	484	532	1,016	16	
	下野	399	664	833	1,497	16		中浜	147	281	344	625	6	
	大和	188	325	362	687	11		浜町	130	249	447	696	11	
	富士	498	951	1,144	2,095	30		羽衣	150	263	357	620	8	
	行合	402	695	857	1,552	22		秋葉	328	610	704	1,314	27	
	北町	309	534	786	1,320	20		北末	286	484	573	1,057	16	
	計 (9)	3,169	5,662	6,799	12,461	183		南町	286	521	610	1,131	15	
	北 校 区	北浜	206	343	610	953		9	南区	505	915	1,107	2,022	33
		海門	230	474	896	1,370		14	南下	202	399	456	853	14
		補浜	109	243	295	538		8	計 (12)	3,029	5,552	6,816	12,368	183
		流川	78	143	219	362		6	西 校 区	朝見	309	556	669	1,225
老松		267	390	645	1,035	8	此の花	340		646	701	1,347	26	
仲町		173	308	441	749	12	錦	417		774	926	1,700	20	
補町		275	495	709	1,204	11	乙原	60		128	149	277	5	
的ヶ浜		188	349	404	753	14	上原	406		731	801	1,532	27	
上のヶ浜		202	398	417	815	14	上朝見	200		465	428	893	11	
梅園		170	323	426	749	14	真光寺	483		961	1,085	2,046	34	
日の出		142	309	502	811	16	栄	250		461	493	954	15	
港町		108	199	321	520	8	八幡	310		519	672	1,191	21	
弓ヶ浜		187	349	446	795	12	計 (9)	2,775		5,241	5,924	11,165	179	
北弓ヶ浜		210	419	457	876	17	運 田 校 区	上の町		216	395	478	873	12
計 (14)	2,545	4,742	6,788	11,530	163	赤松		31		98	95	193	3	
青 山 校 区	西野	251	438	567	1,005	25		西町		270	456	564	1,020	12
	本町	113	209	266	475	7		山田		265	593	632	1,225	14
	不老	300	594	836	1,430	32		南末	235	429	445	874	18	
	田の湯	326	439	602	1,039	22		広町	105	182	297	479	4	
	上田の湯	382	622	867	1,489	26		新瀬	257	395	604	999	15	
	上原	603	1,062	1,328	2,390	28		新魚田	32	68	79	147	3	
	計 (6)	1,975	3,362	4,466	7,828	130		浦田	62	224	256	480	5	
								河内	68	137	149	286	3	

34

校区	町名	世帯数	人口			班数	校区	町名	世帯数	人口			班数	
			男	女	計					男	女	計		
運田校区	鳥越	43	99	23	122	4	朝日校区	鉄輪	126	126	270	396	10	
	柳	35	87	94	181	2		北鉄	61	135	165	300	5	
	東蓮田	328	622	715	1,337	22		天間	55	160	150	310	6	
	西蓮田	199	315	315	689	17		計	(15)	1,338	2,675	3,280	5,955	95
	山家	412	746	746	1,545	25		亀川校区	亀川上	275	736	676	1,412	19
	東仲町	194	288	288	629	7			亀川中	220	504	616	1,120	18
	東仲町	237	418	418	906	10			亀川本	460	840	963	1,803	32
	西那橋	81	128	128	267	9			平田	307	576	671	1,247	17
	古賀原	42	113	113	209	4			内藤	273	651	683	1,334	18
	内成	117	354	354	720	10			古市	349	740	791	1,531	25
計	(20)	9,229	6,147	6,147	13,181	199	四の湯		307	617	697	1,314	19	
石垣校区	突相寺	54	123	143	266	3	野田		103	195	238	433	5	
	中須賀	193	416	469	885	6	浜田		329	580	647	1,227	28	
	春木	77	153	189	342	5	湯山		40	99	81	180	4	
	南須賀	128	286	301	587	9	上人浜	105	177	192	369	7		
	上入	462	808	914	1,722	31	国立	52	111	97	208	4		
	南石垣	262	546	614	1,160	16	大所	27	67	74	141	2		
	吉弘	227	511	531	1,042	23	小坂	72	131	215	396	6		
	若草	161	292	391	683	10	計	(14)	2,919	6,074	6,641	12,715	204	
	計	(8)	1,564	3,135	3,552	6,637	103	南立石校区	南立石一	211	375	569	944	12
	朝日校区	明凡	67	123	144	267	7		南立石二	104	210	232	442	8
小倉		70	184	177	361	6	堀田		81	192	215	407	6	
竹の内		55	134	153	287	3	狂園		456	1,082	1,165	2,247	39	
馬場		62	154	151	305	4	扇山		50	104	130	234	7	
新別府		94	169	228	397	5	計	(5)	902	1,963	2,311	4,274	72	
鶴見	121	286	375	661	13	東山校区	東山一	45	107	138	245	4		
大畑	47	112	133	245	3		東山二	42	121	127	248	3		
火壳	198	427	468	895	9		枝郷	43	147	139	286	5		
鉄輪	89	174	212	386	6		山の口	48	152	125	277	4		
風呂	92	181	264	445	7		城島	26	81	75	156	3		
御幸	90	161	217	378	6	計	(5)	204	603	634	1,212	19		
井田	81	149	173	322	5	総計	117	23,619	45,162	54,259	99,376	1,535		



執行機関
歴代市長

順位	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
1代	神沢又一郎	大正 13. 9. 26	昭和 3. 5. 28	
2代	平山茂八郎	昭和 3. 5. 29	7. 5. 28	
3代	平山茂八郎	7. 5. 29	10. 6. 3	
4代	永野清	10. 8. 30	10. 9. 8	
5代	小野廉	10. 9. 22	13. 4. 11	
6代	内藤晴三郎	13. 7. 11	17. 7. 10	
7代	平山茂八郎	17. 9. 24	17. 10. 19	
8代	末松借一郎	17. 10. 20	21. 10. 19	
9代	脇鉄一	21. 11. 13	22. 4. 5	
10代	脇鉄一	22. 4. 6	26. 4. 2	公選による
11代	脇鉄一	26. 4. 25	30. 4. 12	
12代	荒金啓治	30. 5. 2	34. 4. 29	
13代	荒金啓治	34. 5. 2	現在	

歴代職務管掌

順位	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
1代	大木俊輔	大正 13. 4. 1	大正 13. 9. 26	職務管掌
2代	小坂登	昭和 10. 6. 4	昭和 10. 8. 30	
3代	福田潤	17. 8. 19	17. 9. 24	臨時代理者

補助機関

市長の補助機関として助役、収入役をはじめ多数の職員をおき円満な運営がなされている、助役は市議会の同意を得てこれを選任、その任期は4年で市長の最高補助機関として職員の担任する事務を監督し又市長の職務を代理する。収入役は市の出納その他会計事務をとり収入及び支出について命令する市長に対し独立の地位を有し命令を審査する権限がある任期は4年で市議会の同意を要するが任期中は解任できない。

歴代助役

順位	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
1代	笠置雪治	大正 13. 10. 1	昭和 3. 10. 10	
2代	藤井文雄	昭和 3. 10. 6	〃 7. 8. 29	
3代	相良律蔵	〃 7. 10. 5	〃 10. 12. 21	
4代	猪俣喜蔵	〃 11. 3. 7	〃 13. 7. 19	
5代	福田潤	〃 13. 8. 19	〃 17. 8. 18	
6代	福田潤	〃 17. 9. 29	〃 18. 5. 29	
7代	海文蔵	〃 18. 5. 31	〃 22. 4. 6	
8代	幸岩河幸河 屋村友珠 一護吉	〃 22. 7. 28	〃 26. 7. 27	助役三人制
9代	幸河村本 友珠 一吉	〃 26. 7. 28	〃 28. 2. 5 〃 30. 5. 19	助役二人制
10代	岡本亮介	〃 30. 5. 19	〃 32. 7. 31	
11代	荒河金村 友 進吉	〃 32. 11. 1 〃 34. 10. 6	現在	助役二人制

歴代収入役

順位	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
1代	永井相次	大正 13. 10. 11	昭和 3. 10. 10	
2代	藤沢徳三	昭和 3. 10. 18	〃 7. 10. 17	
3代	原竜橋	〃 7. 10. 22	〃 11. 10. 21	
4代	末綱文生	〃 11. 12. 16	〃 15. 12. 16	
5代	山田耕平	〃 15. 12. 17	〃 19. 12. 16	
6代	山田耕平	〃 19. 12. 17	〃 23. 12. 16	
7代	山田耕平	〃 23. 12. 17	〃 27. 12. 16	
8代	山田耕平	〃 27. 12. 17	〃 31. 12. 16	
9代	山田耕平	〃 31. 12. 17	現在	

市職員数及配置

昭 35. 1. 28

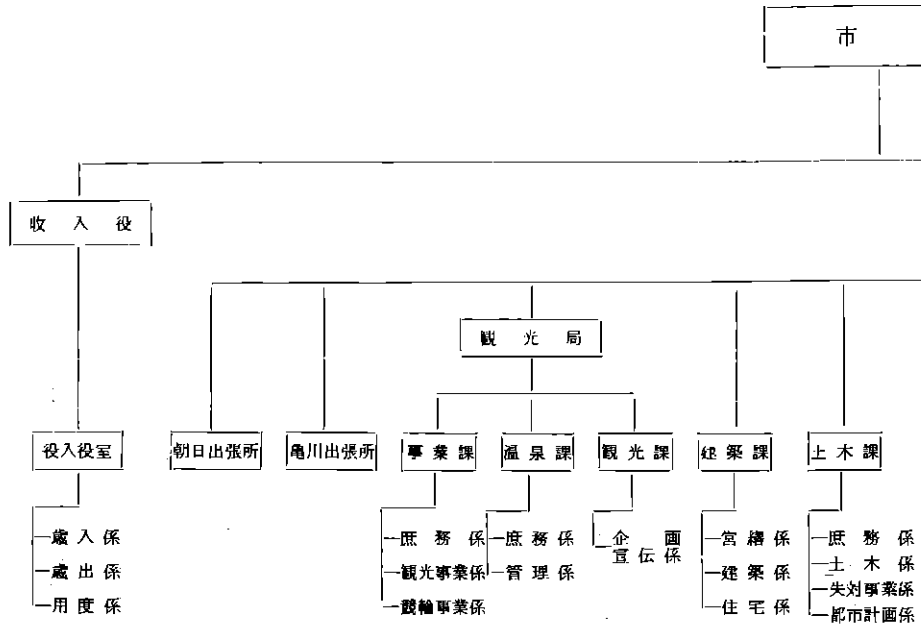
職別	課長事務	長技術	補佐長事務	保長技術	史事務	員技術	小計	嘱託	嘱託事務	員技術	備員	小計	臨時職員	恒久	計
市長室	1		2		3		6	1	2休(1)	1	(1) 4	4	1		15
総務課	1		4		9		14	1	13		3	17	3	4	38
市民課	1		3		12		16		13			13	1	7	37
税課	1		3		19		23		9			9	2	2	36
徴収課	1		3		15		19		21			21	4	3	47
農林課	1		2	2	3	4	12	1	1			2	4	1	19
商工課	1		1		3	1	6	2	2			4	3		13
衛生課	1		3		10		14		8	17	26	51	14	16	95
社会課	1		6		20		27	2	18	1	1	22	5	2	56
土木課		(1)兼	2	1	4	15	(1) 22	3	7	3	5	18	18	55	(1) 113
建築課		1	1	2	2	8	14		1	1		2	2	2	20
観光課	1		1		4		6		2			2			8
温泉課	1		2		2		5		1	2	64	67	5	13	93
事業課	1		3		5	1	10		5	1		6	6	10	32
収入役室	1		3		8	3	15		4	4休(1)	8(1)	1	1		25
亀川出張所	1		1		3		5		3		1	4			9
朝日出張所	1		1		2		4		2			2			6
計	15	(1) 1	41	5	124	32	(1) 218	10	(1) 112	(1) 30	100	(2) 252	72	117	659

各事務部局職員数及配置

昭 35. 1. 28

	長事務	長技術	補佐長事務	保長技術	史事務	員技術	小計	嘱託	嘱託事務	員技術	備員	小計	臨時職員	恒久	計
議会事務局	1		1		3		5			!	1	1	1		8
監査事務局	1		1		3		5					0	1		6
消防本部		(消)1		(消)3	1	(消)42	47			(消)7		7		5	59
農委事務局	兼(1)		1		5		6		1			1	1		8
選官事務局	1		1		4		6		1			1			7
教委事務局	2		1		8		11	1	2			3	2	2	(1) 18
商業高校の職員	兼(1)				3	教諭27	30		1			1	1	2	34
幼稚園						教諭40	40			助教16		16			56
学校その他の教育機関					3		3	4	10		34	48	5	24	80
水道企業	1	2	4	2	24	10	43		12	65		77	12	11	143
計	6(兼)22(消)1		9	2(消)3	54	(教)67(消)42	196	5	27	(教)16(消)7	34	155	22	46	419

別府市行政



その他の事務局

別府市議会事務局

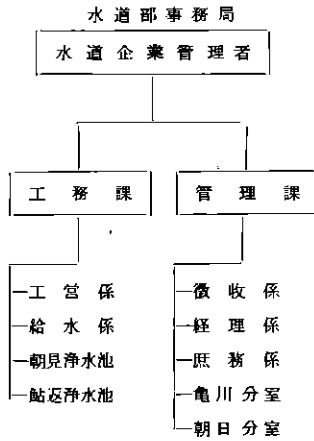
別府市教育委員会

別府市選挙管理委員会

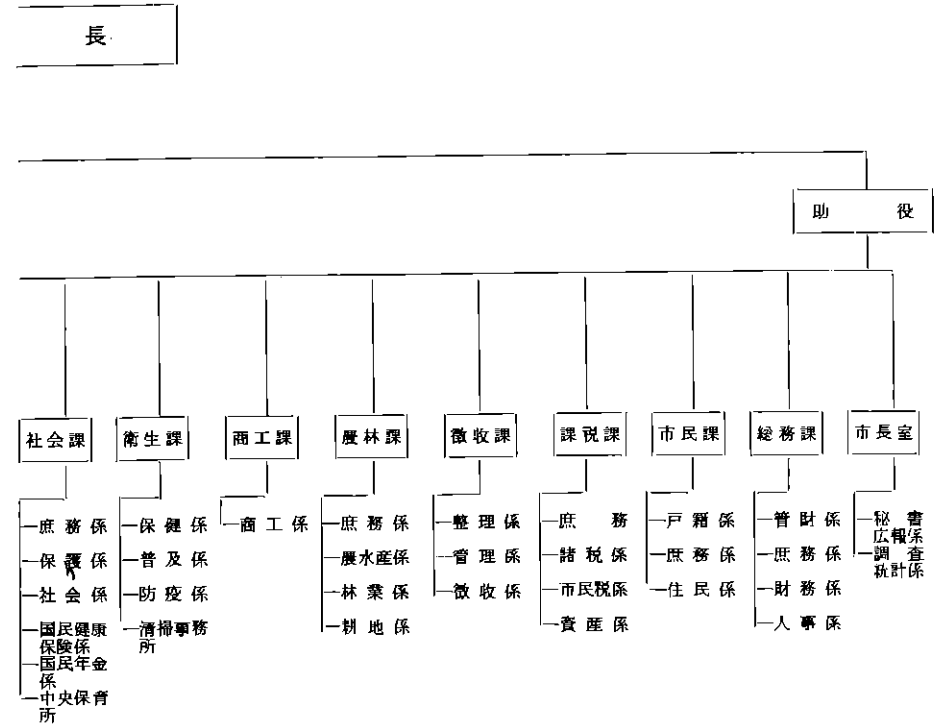
別府市監査事務局

別府市農業委員会

別府市消防署



機構一覽表



別府市職員実数

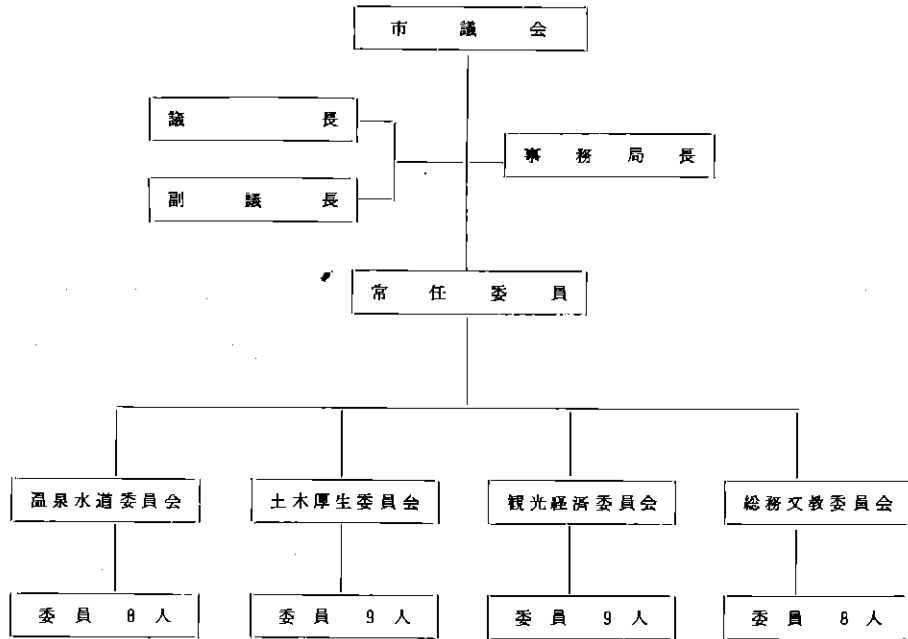
昭 35. 1. 28

職名	男	女	計	職名	男	女	計
事務吏員	248	1	249	備員	56	78	134
技術吏員	52	0	52	消防雇員	7	0	7
消防吏員	46	0	46	助教諭	0	16	16
教諭	24	43	67	準職員	63	31	94
嘱託	13	2	15	恒久臨時職員	134	29	163
事務雇員	75	64	139				
技術雇員	93	3	96	計	817	267	1073

議 決 機 関

別府市議会は条例の定むる所による36名の議員によつて構成される市民の代議機関であつて議決権の外監査の請求、行政事務の調査など広はんな権限が附与され、その任期は4年である。市議会の議長及び副議長は議員の中から市議会に於て選挙され議長は議会を主宰し市議会に関する事務を統理し議会を代表する。又市議会には市議会の庶務一般を処理するため事務局が設けられ、これに事務局長、書記がおかれている。

機 構



昭 35. 3. 末現在

市議会開会数及び議決件数

昭 34. 1 ~ 12

区 分	回 数	日 数	提案件数	原案可決	修正可決	否 決	撤 回	協議会
定 例 会	4	34	141	137	4	0	0	4
臨 時 会	2	2	6	6	0	0	0	0
計	6	36	147	143	4	0	0	4

歴代市議会議長

順 位	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1 代	山 田 耕 平	大 正 13. 6. 28	大 正 15. 7. 8
2 代	高 橋 欽 哉	15. 7. 8	昭 和 3. 6. 19
3 代	山 田 耕 平	昭 和 3. 6. 29	7. 6. 20
4 代	川 野 直 吉	7. 7. 1	9. 12. 10
5 代	川 野 直 吉	10. 3. 15	11. 6. 20
6 代	森 八 治	11. 7. 6	13. 8. 18
7 代	川 野 直 吉	13. 8. 18	15. 1. 19
8 代	近 幸 雄	15. 3. 11	15. 6. 20
9 代	手 島 森 太 郎	15. 7. 9	17. 9. 10
10 代	宇 都 宮 則 綱	17. 9. 10	21. 10. 30
11 代	岡 重 善	21. 10. 30	22. 4. 29
12 代	垣 迫 杉 太 治	22. 5. 24	25. 11. 17
13 代	佐 藤 福 治	25. 11. 17	26. 1. 10
14 代	平 野 国 松	26. 3. 7	28. 3. 7
15 代	平 野 国 松	28. 3. 7	30. 2. 19
16 代	永 井 正 馬	30. 5. 18	33. 7. 12
17 代	石 坂 一 馬	33. 7. 14	34. 4. 30
18 代	中 村 弁 助	34. 5. 12	現 在

歴代市議会副議長

順 位	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
1 代	和 田 嘉 七	大 正 13. 6. 28	大 正 15. 7. 8
2 代	河 村 甄 三	15. 7. 8	昭 和 3. 6. 20
3 代	岩 尾 恒 吉	昭 和 3. 6. 29	5. 6. 30
4 代	藤 沢 良 吉	5. 6. 30	7. 6. 20
5 代	鶴 田 道 造	7. 7. 1	10. 3. 27
6 代	安 部 謹 吾	10. 3. 27	11. 5. 1
7 代	手 島 森 太 郎	11. 5. 9	11. 6. 20
8 代	毛 井 睦 治	11. 7. 6	13. 7. 4
9 代	近 幸 雄	13. 8. 11	15. 3. 11
10 代	牧 福 一	15. 3. 11	15. 6. 20
11 代	小 野 孝 平	15. 7. 9	17. 10. 3
12 代	大 豊 田 一	17. 10. 3	21. 10. 30
13 代	牧 福 一	21. 10. 30	22. 4. 29
14 代	安 部 卓 夫	22. 5. 24	25. 11. 17
15 代	池 田 一 好	25. 11. 7	26. 1. 10
16 代	永 井 正 馬	26. 3. 7	27. 7. 28
17 代	星 野 数 夫	27. 10. 20	28. 6. 30
18 代	永 井 正 馬	28. 6. 30	30. 2. 19
19 代	大 塚 熊 喜	30. 5. 18	31. 6. 13
20 代	原 田 時 市	31. 6. 13	32. 11. 1
21 代	石 坂 一 馬	32. 11. 1	33. 7. 14
22 代	松 野 透 雄	33. 7. 14	34. 4. 30
23 代	河 野 賢 次 郎	34. 5. 12	現 在

市 議 会 議 員

昭 35. 3. 末

席次	氏 名	所 属	職 業	電話番号	住 所	生 年 月 日
1	上 月 大 八 郎	土木厚生委員	旅 館	234	港 町	T 4. 2. 3
2	手 嶋 利 勝	観光経済委員	旅 館	1229	莊 園	M 44. 8. 26
3	平 野 国 松	総務文教委員	団 体 役 員	86	桶 浜	〃 31. 11. 21
4	中 村 佐 太 郎	総務文教委員	会 社 々 長	{ 目 店 649 2007	上 野 口	〃 30. 7. 17
5	小 林 末 吉	総務文教委員	農 業	次 8232	上 人	〃 31. 8. 17
6	岩 尾 新 一	土木厚生委員	旅 館	1943	梅 園	〃 24. 4. 15
7	市 原 宝 吉	総務文教委員	保 険 代 理 店	11	松 原	〃 35. 8. 31
8	豊 田 実	観光経済委員	会 社 重 役	{ 自 社 1727 2040	南 野 口	〃 38. 10. 23
9	中 村 弁 助	議 長	会 社 重 役	{ 目 社 569 4470	新 町	〃 24. 4. 20
10	久 保 鶴 繁	観光経済委員	会 社 々 長	288-1358	住 吉	〃 40. 8. 28
11	矢 野 道 雄	温泉水道委員	無 職	3656	下 野 口	〃 32. 1. 21
12	阿 部 新	温泉水道委員	会 社 々 長	1225-50	行 合	〃 26. 7. 18
13	横 江 征 一	観光経済委員	食 料 品	66	兩 野 口	T 8. 10. 6
14	小 野 英 雄	土木厚生委員	農 業	次 2154	南 石 垣	M 37. 9. 18
15	辛 島 等	土木厚生委員	会 社 々 長	1054	西 町	〃 34. 12. 12
16	局 綱 次	総務文教委員	団 体 役 員	4376	錦	〃 38. 7. 8
17	河 野 賢 次 郎	温泉水道委員	旅 館	381-1602	老 松	〃 36. 12. 30
18	宇 都 宮 勇	観光経済委員	地 鉄 経 営	8373	鉄 輪	〃 30. 1. 18
19	三 ヶ 尻 政 雄	温泉水道委員	団 体 役 員	8565	亀 川 上	T 元 10. 20
20	石 坂 一 馬	土木厚生委員	会 社 重 役	{ 目 社 136 775	弓 ヶ 浜	M 29. 3. 24
21	前 田 松 夫	温泉水道委員	会 社 重 役	1788	行 合	〃 36. 7. 24
22	松 野 直	土木厚生委員	旅 館	833	北 町	〃 39. 6. 4
23	津 田 八 郎	観光経済委員	商 業	1177	北 町	〃 31. 4. 25
24	松 野 達 雄	温泉水道委員	会 社 々 長	{ 目 旅 館 629 3700	上 田ノ湯	〃 38. 7. 25
25	井 口 春 吉	土木厚生委員	会 社 々 長	{ 目 店 2794 1684	上 野 口	〃 38. 5. 28
26	欠 員					
27	草 牧 信 雄	総務文教委員	会 社 々 長	8467の乙	湯 山	T 9. 1. 17
28	岡 部 茂 人	観光経済委員	会 社 々 長	1107	北 弓ヶ浜	〃 15. 8. 8
29	林 喜 代 司	温泉水道委員	旅 館	524	北 町	〃 10. 10. 21
30	首 藤 健 次	土木厚生委員	会 社 重 役	1559	真 光 寺	S 8. 3. 20
31	首 藤 邦 弘	観光経済委員	旅 館	320	不 老	T 3. 10. 27
32	永 井 正	総務文教委員	会 社 々 長	{ 自 社 132 2651	向 浜 下	M 37. 8. 14
33	安 部 清 登	総務文教委員	団 体 役 員		上 原	〃 44. 3. 26
34	佐 藤 晴 信	温泉水道委員	貸 間	8439	鉄 輪	T 4. 7. 4
35	安 部 政 幸	観光経済委員	公 社 職 員	{ 駅 次 236 3816	錦	〃 9. 11. 1
36	大 平 文 士	土木厚生委員	公 社 職 員	{ 目 局 1884 1300	西 野 口	〃 12. 6. 23

委 員 会 及 び 委 員

各種行政委員会は合議制による行政機関であり、この制度は戦後我が国の行政機構のなかに急速に取り入れられ著しい発展をみせている新しい型の行政機関である。

普通地方公共団体には地方自治法第180條の5により教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会等の各種の行政委員会がおかれているが、本市の規則により設置された別府市例規審査委員会、別府市能率推進委員会、別府市職員委員会などがある。

選 挙 管 理 委 員 会

選挙管理委員会は選挙の民主化と公正を保障するため設けられた公選首長に対して独立の地位を有する執行機関であつて、その委員の構成を不偏不党たらしめ選挙権を有する者から市議会において選挙した委員4名をもつて構成し、任期は3年である。

委員会は、本市又は国その他公共団体の選挙に関する事務並に一般投票に関する一切の事務を管理し尚選挙が公明に行われるよう常時啓蒙をし、合議制によつて会議の運営をはかる。

選 挙 管 理 委 員 会 委 員 及 び 職 員

昭 34. 12. 末 現 在

委 員	補 充 員	委員会開催数	局 長	警 記	事 務 員
4	4	25	1	5	1

選 挙 管 理 委 員

昭 34. 12. 末 現 在

職 名	氏 名	生 年 月 日	職 業	現 住 所
委 員 長	宇 佐 美 鉄 雄	明 治 38. 11. 29	税 理 士	別府市朝見町 9組
委 員	三 浦 直 政	〃 30. 1. 21	高 校 教 諭	〃 上原町 5組
〃	三 浦 徳 治	〃 25. 7. 1	無 職	〃 上原町 3組
〃	福 田 清 吉	〃 35. 7. 20	教 材 販 売	〃 西野口町 7組

最近における各種選挙別執行結果

昭 34. 1 ~ 34. 12

区 分	執 行 日 年 月 日	当 日 有 権 者 数			投 票 者 数			投 票 率 %
		男	女	計	男	女	計	
大分県知事選挙	34. 4. 23	27,200	35,951	63,151	23,214	30,208	53,422	84.59
大分県議会議員選挙	〃	27,200	35,951	63,151	23,216	30,207	53,423	84.60
別府市長選挙	34. 4. 30	27,479	36,443	63,922	24,804	32,758	57,562	90.05
別府市議会議員選挙	〃	27,479	36,443	63,922	24,802	32,759	57,561	90.05
参議院大分県選出議員選挙	34. 6. 2	28,303	37,492	65,795	20,503	25,997	46,500	70.67
〃 全国選出 〃	〃	28,303	37,492	65,795	20,502	25,997	46,499	70.67

市議会議員選挙における党派別得票数

昭 34. 5. 1

自 民 社 会 共 産 諸 派	無 所 属			合 計		
	保守系	革新系	純無所属			
39,950	3,630	578	11,567	1,342	12,909	57,067

基本選挙人名簿登録者数

昭 34. 12. 20

投票区	男	女	計	投票区	男	女	計
第 1	1,193	2,378	3,571	15	172	173	345
2	1,136	1,475	2,611	16	75	75	150
3	1,542	2,570	4,112	17	75	75	150
4	1,427	1,827	3,254	18	1,817	2,492	4,309
5	1,759	2,421	4,180	19	1,381	1,719	3,100
6	1,861	2,746	4,607	20	589	761	1,350
7	1,061	1,738	2,799	21	1,224	1,506	2,730
8	1,535	2,088	3,623	22	1,444	1,859	3,303
9	188	208	396	23	78	94	172
10	1,975	2,540	4,515	24	59	63	122
11	1,932	2,622	4,554	25	90	99	189
12	1,572	850	2,422	26	99	119	218
13	1,810	2,165	3,975				
14	1,025	1,454	2,479	合 計	27,519	36,117	63,636

海区漁業調整委員会委員選挙人名簿登録者数

昭 34. 12. 20

投票区	男	女	計	世帯数
第 1 投票区	277	195	472	228
第 2 投票区	158	134	292	112
合 計	435	329	764	340

監 査 委 員

監査委員は市長に対し独立の立場にあり、他の各種行政委員会と異なる独任制の機関であつて地方自治法の定めるところにより市行政の公正と効率の確保を指導理念として、市行政の実態を検討把握しその結果を発表することにより議会の審議及び理事者の執行に資すると共に市民の市行政に対する関心を振起することを目的とするものである。本市監査委員の定数は2名で、市長が市議会議員及び学識経験者の中から各1名議会の同意を得て選任するのであり、現在の監査委員は次の2名である。

昭 34. 12. 末

氏 名	選 任 別	生 年 月 日	現 住 所
横 江 征 一	議 会 選 任	大 8. 10. 6	別 府 市 南 野 口 町
上 田 鴨 市	学 識 経 験 者	明 35. 9. 7	別 府 市 浜 田 町 17 組

監査委員の職務執行を補助するため監査事務局が置かれ補助職員は局長以下6名で昭和34年中に執行した監査は次の通りである。

総 数	例 月 検 査	臨 時 出 納 検 査	定 期 監 査	臨 時 監 査	決 算 審 査
25	12	2	8	1	2

公 平 委 員 会

昭和25年12月13日公布された地方公務員法の完全な実施を確保し、その目的を達成するために同法第7条の規定に基づいて昭和26年7月27日に本市の公平委員会が設置された。委員会は一般の職員の人事行政に関して調査企画を行い研究の結果を市議会又は任命権者に提出し、人事行政の運営について任命権者に勧告し判定する等の職務権限がある。委員会は市長が市議会の同意を得て選任する3名からなり、委員の任期は4年であり、現在の公平委員は次の通りである。

昭 35. 1. 28

氏 名	職 業	生 年 月 日	現 住 所
二 宮 威 徳	旅 館 主	明 42. 1. 19	別 府 市 海 門 寺 3 組
欠 員 2 名			

固定資産評価審査委員会

地方税法の規定により固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服を審査決定するために昭和26年11月1日日本市に次の通り固定資産評価審査委員会が設置された。

昭和34.12.末

氏名	職業	生年月日	住所
金 三 曹	大分交通会長	明治 18. 12. 4	別府市北浜町6組
岩 米 造	無	〃 16. 12. 26	〃 柄町3組
宮 隆 人	信用金庫支店長	〃 20. 2. 10	〃 不老町4組
末 利 治	無	〃 21. 4. 2	〃 上原町5組
田 思 旅	旅館主	〃 33. 4. 12	〃 龜川本町4組
安 治 亀	旅館主	〃 35. 9. 28	〃 鉄輪上町1組
入 文 雄	無	〃 18. 2. 4	〃 魚乗町10組
徳 太 郎	材木商	〃 29. 11. 11	〃 行合町14組
栗 寺 金 一	農 業	〃 22. 2. 9	〃 吉弘町9組

農業委員会

農業委員会は、農業、生産力の発展及び農業経営の合理化を図り農民の地位向上に寄与するための代表機関として設けられた独立機関で昭和32年7月以来本市は一委員会によつて運営されている
委員会は其の権限に属された農地等の利用調整及び自作農の創設維持、交換分合その他農地に関する諸事務を処理し農業生産の増進、農業経営の合理化、農民生活の改善等に関する振興計画の樹立、実施の推進について建議又は諮問に答ずる。

委員会機構及び開催回数

昭和34.12.末

委員 数			職員 数		委員会開催回数
公選	選任	計	定員	現員	
20	10	30	8	7	10

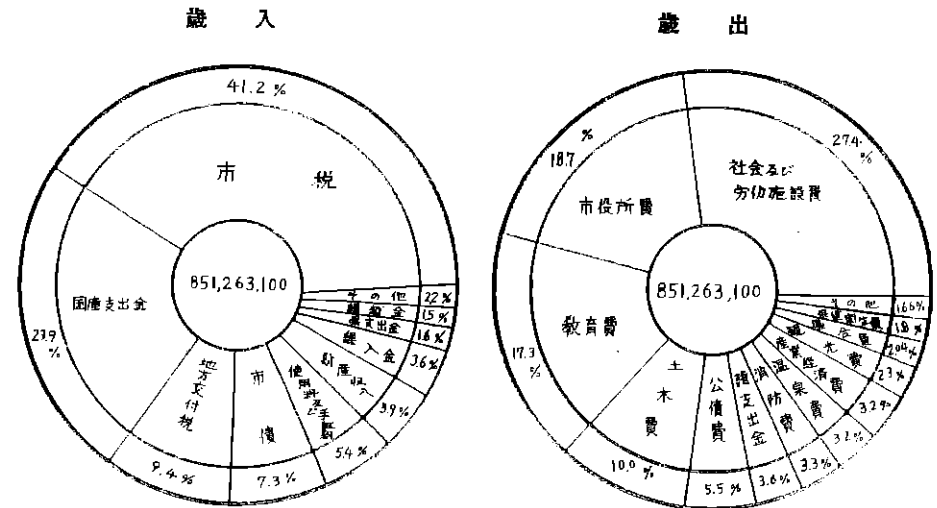
委員会取扱件数

昭和34.1~12

	受理件数	許可件数	不許可件数	取下件数	その他
所有権移転	166	155	2	1	8
農地の潤類	216	206	1	0	9
小作地引上	25	21	0	0	4
その他	37	25	1	0	11



昭和34年度予算現額



昭和34.12.末

昭和34年度当初予算

歳入		歳出	
科目	金額	科目	金額
市税	348,119,700円	議会費	16,753,900
市町村助成交付金	1,000,000	市役所費	150,249,800
地方交付税	75,000,000	消防費	24,108,400
財産収入	12,477,300	土木費	40,224,200
分担金及び負担金	4,544,600	教育費	102,983,600
使用料及び手数料	43,074,000	社会及び労働施設費	196,334,800
国庫支出金	146,997,700	保健衛生費	15,196,600
県支出金	9,786,500	温泉費	24,827,600
寄附金	150,200	観光費	15,598,500
繰入金	10,000,000	産業経済費	17,586,900
繰越金	1,000	財産費	5,391,300
雑収入	8,369,100	統計調査費	334,000
市債	29,500,000	選挙費	5,644,400
		公債費	44,619,800
		諸支出金	27,166,300
		予備費	2,000,000
歳入合計	689,020,100	歳出合計	689,020,100

昭和33年度決算

(単位円)

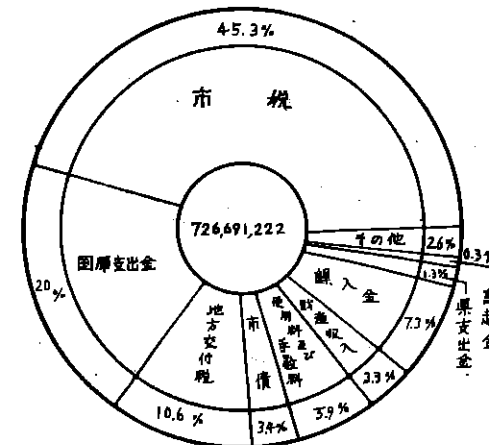
歳入			歳出		
科目	収入済額	比率	科目	支出済額	比率
市税	329,471,913	45.3%	議会費	15,655,288	2.2%
地方交付税	77,294,000	10.6	市役所費	147,887,744	20.7
財産収入	24,514,553	3.3	消防費	23,087,429	3.2
使用料及び手数料	42,893,119	5.9	土木費	60,429,713	8.4
国庫支出金	143,652,467	20.0	教育費	119,446,121	16.7
県支出金	9,892,559	1.3	社会及び労働施設費	185,375,479	26.0
寄附金	4,391,756	0.6	保健衛生費	18,486,539	2.6
繰入金	53,045,600	7.3	温泉費	27,137,175	3.8
繰越金	1,979,831	0.3	観光費	25,574,768	3.6
雑収入	13,381,424	1.8	産業経済費	20,413,435	2.9
市債	25,000,000	3.4	財産費	6,320,632	0.9
市町村助成交付金	1,174,000	0.2	統計調査費	955,654	0.1
歳入合計	726,691,222	100	選挙費	4,005,960	0.6
			公債費	45,126,668	6.3
			諸支出金	13,935,880	2.0
			予備費	—	—
			歳出合計	713,838,485	100

予算現額

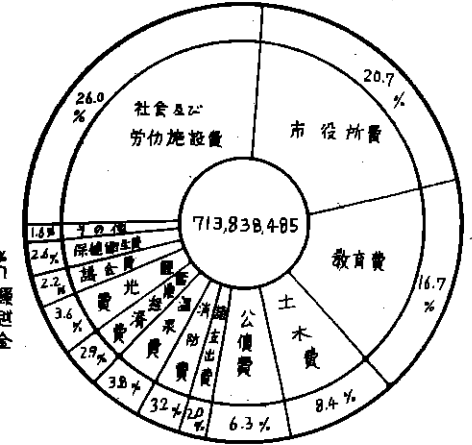
昭和34.12末

歳入			歳出		
科目	金額	比率	科目	金額	比率
市税	350,719,700	41.2%	議会費	17,213,900	2.04%
市町村助成交付金	1,000,000	0.12	市役所費	158,724,800	18.7
地方交付税	80,000,000	9.4	消防費	28,275,800	3.3
財産収入	32,935,500	3.9	土木費	85,054,800	10.0
分担金及び負担金	4,928,200	0.6	教育費	147,512,600	17.3
使用料及び手数料	45,694,000	5.4	社会及び労働施設費	233,515,300	27.4
国庫支出金	203,969,400	23.9	保健衛生費	15,394,600	1.8
県支出金	13,566,100	1.6	温泉費	27,292,100	3.2
寄附金	690,200	0.08	観光費	19,961,000	2.3
繰入金	31,000,000	3.6	産業経済費	27,446,200	3.2
繰越金	12,852,700	1.5	財産費	6,492,000	0.8
雑収入	11,907,300	1.4	統計調査費	334,000	0.04
市債	62,000,000	7.3	選挙費	5,944,400	0.7
			公債費	46,358,800	5.5
			諸支出金	30,742,800	3.6
			予備費	1,000,000	0.12
歳入合計	851,263,100	100	歳出合計	851,263,100	100

歳入



歳出



市税の状況

年度	30	31	32	33
予 算 額	286,417,800	300,637,860	314,031,563	334,256,100
調 定 額	398,721,597	411,642,829	411,253,853	440,024,352
徴 収 済 額	290,813,698	311,287,986	322,347,790	329,471,913
未 済 額	107,907,899	100,354,843	88,906,073	105,650,696

水道費昭和33年度決算

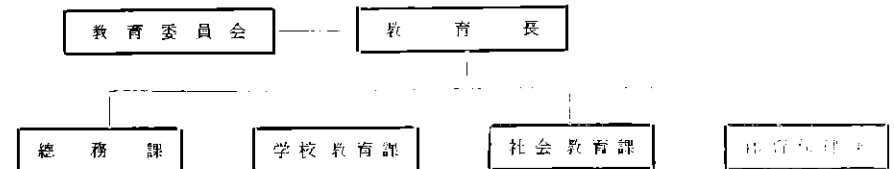
科 目	予算額(A)	決算額(B)	比率 $\frac{B}{A}$	科 目	予算額(A)	決算額(B)	比率 $\frac{B}{A}$
事業収益	78,811,535	79,211,780	100.5	資本の収入	350,000	478,331	136.7
営業収益	78,532,060	78,810,374	100.4	資本剰余金	350,000	478,331	136.7
営業外収益	279,475	401,406	143.6	資本の支出	11,103,606	10,094,609	90.9
事業費用	78,811,435	77,561,381	98.4	建設改良費	8,245,227	7,336,230	89.9
営業費用	71,953,182	70,753,228	98.3	企業償還金	2,758,379	2,758,379	100.0
営業外費用	6,808,253	6,808,153	99.9	予備費	100,000	0	0
予備費	50,000	0	0				

競輪事業会計決算

科 目	32年度(A)	33年度(B)	比率 $\frac{B}{A}$	科 目	32年度(A)	33年度(B)	比率 $\frac{B}{A}$
入 場 料	69,840	64,420	92.2	競輪場費	17,365,230	4,831,866	27.8
車券発売金	335,207,600	347,052,700	103.5	開催費	309,679,880	317,231,878	102.4
車券発売時効収入	468,060	626,560	133.9	交付金	10,128,988	10,551,938	104.1
繰越金	3,553,299	2,238,706	63.0	諸支出金	372,500	14,044,180	3,770.2
雑収入	486,500	535,553	110.0	翌年度繰越金	2,238,706	3,858,077	172.3
計	339,785,299	350,517,939	103.2	計	339,785,299	350,517,939	—



教育委員会機構



委員氏名職業

氏 名	生 年 月 日	職 業
委員 長 高橋 豊之進	明治 32. 3. 20	高橋中車庫長
委 員 佐藤 福治	" 26. 1. 10	藤原製菓社長
" 田尻 芳雄	" 30. 11. 8	上野建設社長
" 佐藤 勇	" 37. 2. 5	新井製菓社長
" 和田 政見	" 37. 1. 30	教員

職 員 数

委員会事務局	学 校 教 諭	学校その他専任職員
34	76	13

幼稚園

昭 34. 11. 30 現在

公立	私立	幼稚園数	園 児 数			組 数	一 組 当 園 児 数	教員数	教員一人当り 園 児 数
			男	女	計				
	市立	10	652	621	1,273	41	31.0	57	22.3
	私立	3	138	126	264	10	27.0	11	24.0
	計	13	790	747	1,537	51	30.1	68	22.6

小学校

昭 34. 11. 30 現在

公立別	学 校 名	児 童 数			学級数	一 学 級 当 児 童 数	教員数	教員一人当り 児 童 数
		男	女	計				
市立	野口小学校	863	811	1,674	32	52.3	40	41.9
〃	北 〃	688	628	1,316	26	50.6	29	45.4
〃	南 〃	838	755	1,593	31	51.4	36	44.3
〃	運田 〃	970	870	1,840	35	52.6	39	47.2
〃	西 〃	755	764	1,519	30	50.6	33	46.0
〃	青山 〃	472	454	926	20	46.3	24	38.6
〃	石垣 〃	469	422	891	19	46.9	22	40.5
〃	亀川 〃	904	940	1,844	35	52.7	39	47.3
〃	朝日小学校	403	426	829	19	43.7	23	36.0
〃	雨立石 〃	298	295	593	12	49.4	15	39.5
〃	東山 〃	50	69	119	4	29.6	5	23.8
〃	天間 〃	44	27	71	3	23.7	4	17.8
〃	湯山分教場	12	10	25	2	12.5	2	12.5
〃	枝郷 〃	25	23	49	2	24.5	2	24.5
〃	山ノ口 〃	24	19	43	2	21.5	2	21.5
私立	明星小学校	77	43	120	6	20.0	10	12.0
	計	6,945	6,606	13,551	286	47.4	330	41.1

註 野口小学校に特殊学級あり(男10女12計22学級数2教員数2)
養護施設整肢園(財団法人)(男42女35計77学級数6教員数5)

中学校

昭 34. 11. 30 現在

公立別	学 校 名	生 徒 数			学級数	一 学 級 当 生 徒 数	教員数	教員一人当り 生 徒 数
		男	女	計				
市立	山ノ手中学校	727	688	1415	29	48.8	43	32.9
〃	青山 〃	560	578	1138	22	51.7	34	33.5
〃	中部 〃	389	399	788	16	49.3	23	34.3
〃	北部 〃	488	476	964	20	48.2	29	33.2
〃	浜脇 〃	480	440	920	18	51.1	27	34.1
〃	朝日 〃	179	182	361	8	45.1	12	30.1
〃	東山 〃	48	34	82	3	27.3	6	13.7
〃	天間 〃	20	16	36	2	18.0	5	7.2
私立	明星 〃	0	67	67	3	22.3	11	6.1
	計	2907	2893	5800	124	46.8	195	29.7

註 青山中学校に特殊学級あり(男8女4計12学級数1教員数2)
養護施設整肢園(財団法人)(男8女7計15学級数2教員数5)

高等学校

昭 34. 11. 30 現在

公立別	学 校 名	生 徒 数			学級数	一 学 級 当 生 徒 数	教員数	教員一人当り 生 徒 数
		男	女	計				
県立	別府鶴見ヶ丘高等学校	706	397	1103	21	52.5	44	25.1
〃	〃 (定時制)	128	19	147	4	36.8	9	16.3
〃	別府緑ヶ丘高等学校	297	820	1117	26	43.0	71	15.7
市立	別府商業高等学校	339	259	598	12	49.8	27	22.1
私立	別府大学附属高等学校	345	279	624	13	48.0	37	16.9
〃	明星学園高等学校	8	288	288	7	41.1	20	14.4
	計	1815	2062	3877	83	46.7	208	18.6

大 学

公立別	学 名	部 別	学 生 数			教 授 数		
			男	女	計	男	女	計
私立	別府大学	文 学 部	93	50	143	31	5	36
		短 期 大 学 部	106	137	243	31	14	45
		付設自由ヶ丘幼稚園 教員養成所		53	53			

図書館の蔵書数と利用状況

昭 34. 1 ~ 12

種 別	蔵 書 数	比 率	閱 覧 冊 数	比 率	蔵書数に対する利用率
文 学	4,186	20.8%	14,377	19.6%	343.4%
社 会 科 学	2,843	14.1	10,389	14.2	365.4
地 誌 歴 史	1,853	9.2	5,008	6.8	270.2
自 然 科 学	1,079	5.4	6,132	8.4	568.3
芸 術	1,060	5.3	2,769	3.8	261.2
哲 学 宗 教	1,011	5.0	1,358	1.8	134.3
工 産 業 学	637	3.2	889	1.2	139.5
語 学	510	2.5	987	1.3	192.7
總 記	359	1.8	3,231	4.4	900.0
郷 土 資 料	341	1.7	2,192	3.0	642.8
児 童 図 書	113	0.6	74	0.1	65.4
其 の 他	2,659	13.2	4,469	6.1	168.0
計	3,463	17.2	21,457	29.3	619.6
	20,114	100	73,332	100	364.6

職業別閲覧者数

昭 34. 12. 末

職 別	児 童	学 生 生 徒	公 務 員	宗 教 家	法 務 医 者 述 業	農 林 水 産	鉱 工 業	商 業 交 通 業	無 職	教 員	其 他	家 事	計
人 員	4,604	27,949	891	22	4	276	4	4,989	8,308	349	5,549	3,766	56,711

公民館

昭 34. 12 末

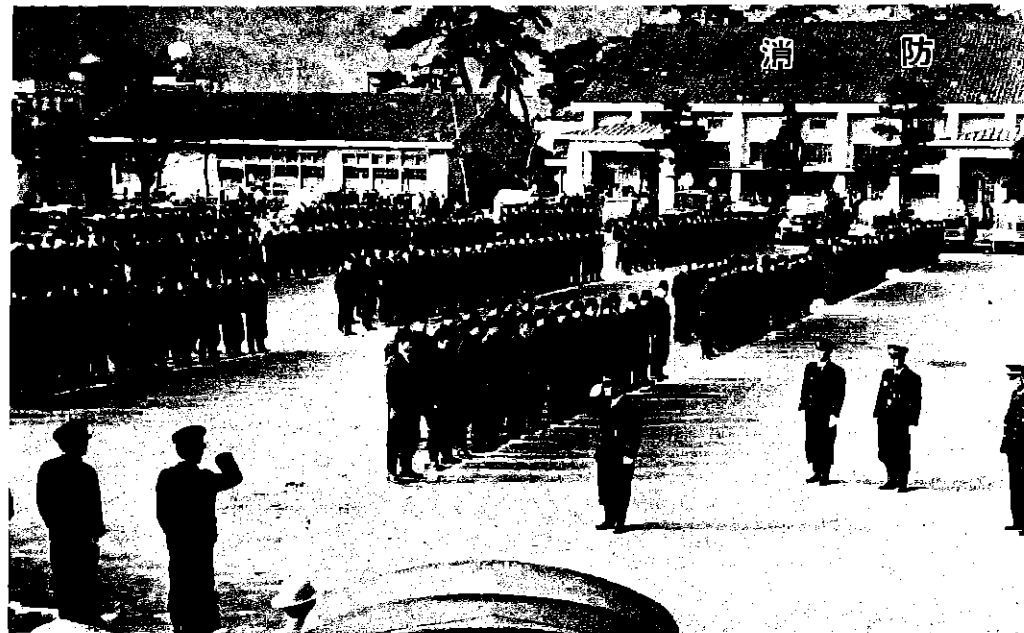
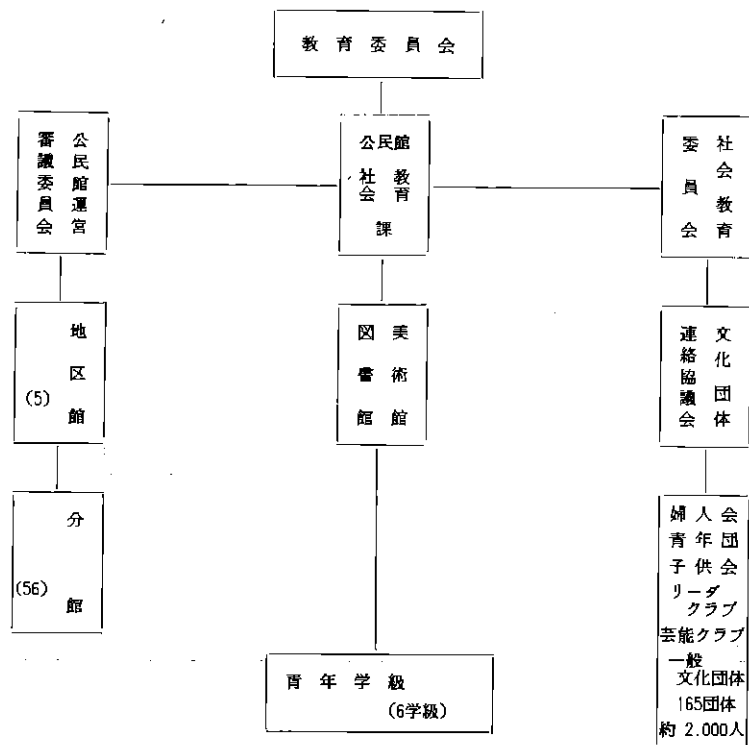
区分	本館	地区館	町内分館	運営審議委員	職別	館長	主事	事務職員	その他の職員
設置数	1	5	56	21(名)	人員	1	1	5	2

公民館活用状況

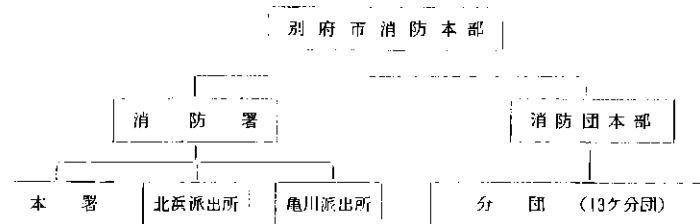
昭 34. 1 ~ 12

区分	大ホール		講 座 室		会 議 室		そ の 他	
	開催数	利用者数	開催数	利用者数	開催数	利用者数	開催数	利用者数
公民館行事	6	6,000	24	2,400	81	2,430	200	5,000
外部行事	88	8,800	19	1,900	10	300	—	—
共催行事	43	43,000	38	3,800	62	1,860	—	—
計	137	57,800	81	8,100	153	4,590	200	5,000

公民館に於ける社会教育活動の組織機構



消防機構



消防署職員数

昭 34. 12 末

区分	消防長	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	消防士補	その他	計
人員	市長 1	1	2	3	9	32	5	8	60

消防団員数

昭 34. 12 末

区分	団長	副団長	分団長	団本部長	副分団長	班長	副班長	団員	計
人員	1	2	13	1	21	59	53	302	452

消 防 機 械

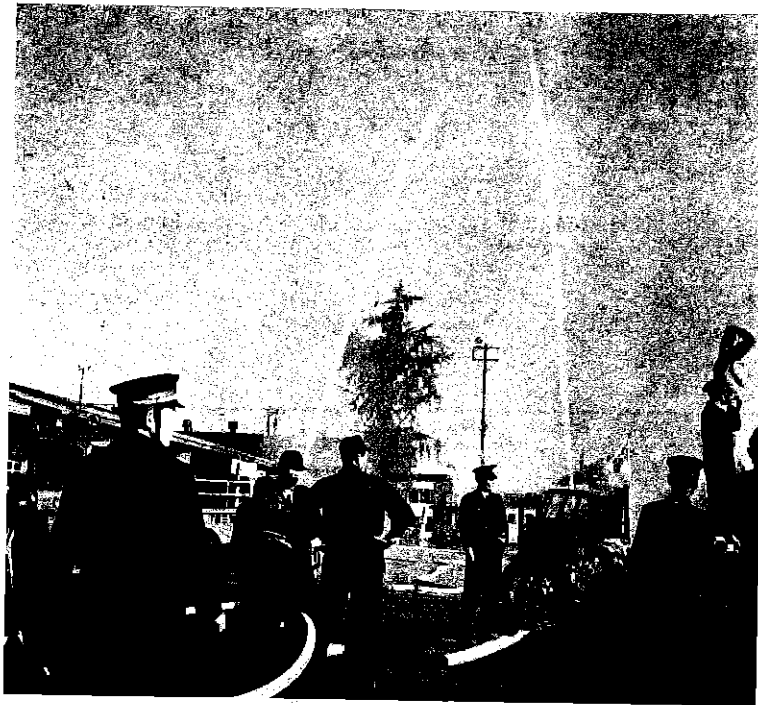
昭 34. 12 末

種 別	タンク車	自動車ポンプ	照 明 車	手引動力ポンプ	可搬動力ポンプ	陶用ポンプ	計
消 防 署	1	7	1	—	2	—	11
消 防 団	—	2	—	3	15	6	26
計	1	9	1	3	17	6	37

火災発生の原因及び件数損害額

昭 34. 1 ~ 12

原 因	件数	%	損 害 額	原 因	件数	%	損 害 額
煙 草	20	25.3	1,453,800円	焚 火	7	8.9	337,100円
電 気	5	6.3	122,200	ローソク・マッチ	2	2.5	127,600
石油コンロ	3	3.8	3,700	取 灰	1	1.3	1,570,000
煙 突	7	8.9	15,500	不 明	3	3.8	8,651,000
電 燈	7	8.9	3,972,200	放 火	4	5.0	205,350
逆火ガソリン	14	17.7	4,781,000	弄 火	1	1.3	500
炬 燵 火 鉢	1	1.3	2,000				
七 輪	4	5.0	1,179,200	計	79		22,421,050



出 初 式



警 察 職 員 数

昭 34. 12. 末

区 分	設 置 数	職 員					小 計	其 他 職 員	計
		警 視	警 部	警 部 補	巡 査 課 長	巡 査			
本 署	1	2	5	5	18	62	92	16	108
亀 川 連 絡 所	1	—	—	1	—	—	1	—	1
巡 査 課 長 派 出 所	—	—	—	—	—	—	—	—	—
巡 査 派 出 所	6	—	—	—	—	30	30	—	30
巡 査 駐 在 所	7	—	—	—	1	6	7	—	7
計	17	2	5	6	19	98	130	16	146

車 輛 保 有 数

昭 34. 12. 末

大型シブ	無線自動車	小型トラック	サイドカー白バイ	単車白バイ	乗 用 車	そ の 他	計
3	1	1	1	5	1	5	17

警察取締営業所数

昭 35. 4. 現在

区	料	カ	バ	ダンス	遊	質	古	古	料	簡	銃
分	亭	フ	エ	ホール	技	屋	物	物	理	易	銃
件	数	1	1	1	場	64	商	市場	店	店	砲
件数	82	57	10	36	64	214	9	127	115	595	

犯罪発生と検挙数

昭 34. 1 ~ 12

	殺	強	放	強	暴	傷	脅	恐	窃	詐	横	背	偽	汚	賭	わ	そ	計
	人	盗	火	盗	行	害	迫	喝	盗	欺	領	任	造	敷	博	い	他	
	5	16	4	4	80	209	21	70	2021	294	101	4	16	0	0	22	218	3085
発生件数	5	16	4	4	80	209	21	70	2021	294	101	4	16	0	0	22	218	3085
検挙件数	5	14	4	4	68	191	16	57	750	253	88	4	16	0	0	22	214	1706
検挙率	100	87	100	100	85	91	76	81	37	86	87	100	100	—	—	100	98	

交通事故発生件数

昭 34. 1 ~ 12

区	分	オート	バイク	自動車	電車	汽	車	計
件	数	6	6	7	4	1	1	14
件数		6	6	7	4	1	1	14
負傷		6	7	7	5	0	0	14
死亡		3	1	2	0	1	1	16

防犯協力会

自主的防犯活動の推進によつて住民の防犯思想を高揚すると共に各種防犯団体との連絡調整を行い犯罪のない明るい社会を作ることを目的とし昭和32年5月市内117町内に地区防犯協会が発足し11の学区支部を形成し同年11月各学区支部の連合体である別府市防犯協会連合会が組織され事務局を別府市役所市長室に設置した。

産 業



商業、サービス業について 本市は温泉観光都市として発展したため観光客を対象とした土産品関係、市民の日常消費を対象とした一般商店で形成され、その他の商業部門も往を迫るで発展しているまた旅館、その他サービス業、娯楽業はその数、規模において実に大きく、商店街はアーケードを施し、その美観は観光都市別府ならでは感がある。

工業について 完全なる消費都市のため工業部門は他市のそれと比較してやや低調であるが、特筆すべきものは竹材による各種製品の生産がある。これは家庭工業の振興と土産品改善などと相俟つて益々発展し国内は勿論海外にも輸出され我国竹製品工業の王座を占めている。

農漁業について 消費地を抱えている関係上蔬菜栽培が盛んであり、特色あるものに地熱利用の蔬菜、果菜などの施設栽培がある。漁業では別府湾にのぞむ9kmの海岸線で100余の専業漁家が内海漁業を営み新鮮な魚介を市民に提供している。

産業大分類別事業所数

大分類	事業所数	百分比	総従業者数	大分類	事業所数	百分比	総従業者数
A 農業	2,250	24.8%	12,800	I 金融保険業	127	1.4%	775
B 林業	15	0.16	90	II 不動産業	32	0.35	73
C 漁業	147	1.6	882	J 運輸通信業	119	1.3	1,484
D 鉱業	14	0.15	125	K 電気ガス水道業	6	0.07	175
E 建設業	244	2.7	1,182	L サービス業	2,004	22.1	7,652
F 製造業	818	9.1	3,747	計	9,072	100	40,583

商 業

中 分 類 別	店 舗 数	百 分 比	総 従 業 者 数	備 考
40.41 一 般 卸 売 業	328	9.9%	2,361	
42 代 理 商、仲 立 業	6	0.18	16	年間販売額 11,723,160千円
44 織物、衣服身廻品小売業	300	9.1	1,100	県下11市中の第2位でその割合
45 飲 食 料 品 小 売 業	1,263	38.3	3,161	は約19.3%である。
46 飲 食 店	599	18.2	2,371	
47 目 転 車、荷 車、小 売 業	29	0.89	93	
48 家 具、建 具、什 器 小 売 業	205	6.2	646	
49 そ の 他 の 小 売 業	566	17.2	1,647	
計	3,296	100	11,395	



商 天 街 の 夜 景

工 業

産 業 中 分 類 別	事 業 所 数	百 分 比	総 従 業 者 数	備 考
18 食 料 品 製 造 業	228	27.9%	1,280	
23 家 具 装 備 品 製 造 業	49	6.0	217	年間生産額 1,337,345千円
24 パルプ、紙、紙加工品製造業	15	1.8	79	県下11市中の第8位でその割合は
25 出版、印刷、同関連産業	36	4.4	311	約3.3%である。
26 化 学 工 業	9	1.1	82	
27 石 炭 製 品 製 造 業	1	0.1	18	
29 皮 革、同 製 品 製 造 業	5	0.6	16	
30 窯 業、土 石 製 品 製 造 業	16	1.9	102	
31 鉄 鋼 業	1	0.1	11	
33 金 属 製 品 製 造 業	9	1.1	62	
34 機 械 製 造 業	7	0.9	71	
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	1	0.1	6	
36 輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	2	0.2	5	
37 計 量 測 定 医 療 機 械	2	0.2	11	
39 そ の 他 の 製 造 業	38	4.6	217	
20 織 維 工 業	10	1.2	40	
21 衣 服 そ の 他 の 織 維 製 品 製 造 業	4	0.5	26	
22 木 材、木 製 品 製 造 業	385	47.0	1,194	
計	818	100	3,748	



さ ぼ ん 漬



温 泉 人 形



藍 胎 漆 器

農林漁家数

区分	専業	第1種兼業	小計	第2種兼業	合計
農業	1,328	542	1,870	380	2,250
林業	15	621	636	—	636
漁業	147	142	289	23	312

農耕地利用状況

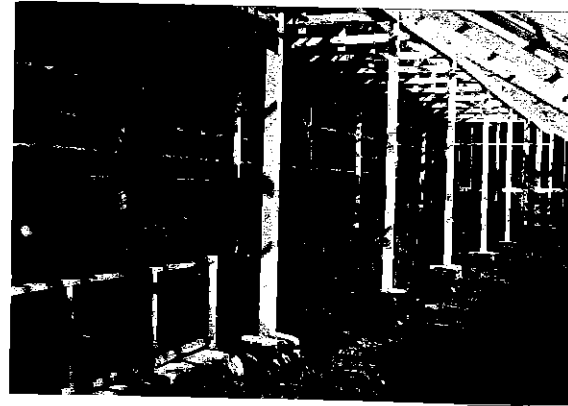
区分	田			畑			
	1毛田	2毛田	小計	普通畑	果樹園	茶園	小計
面積	346.0ha	437.8	783.8	341.6	14.7	3.6	359.9

耕地面積別農家数

面積区分	区分別計	農家数	百分比	— 戸 当 り 耕 地 面 積
9.9アール未満	1,028.49a	185	8.2%	
9.9 — 29	11,284.28	586	26.1	
30 — 49	17,913.05	453	20.2	
50 — 99	57,836.57	822	36.5	
100 — 148	19,820.05	174	7.7	
149 — 198	4,757.42	30	1.3	
合計	112,639.81	2,250		

土地利用状況

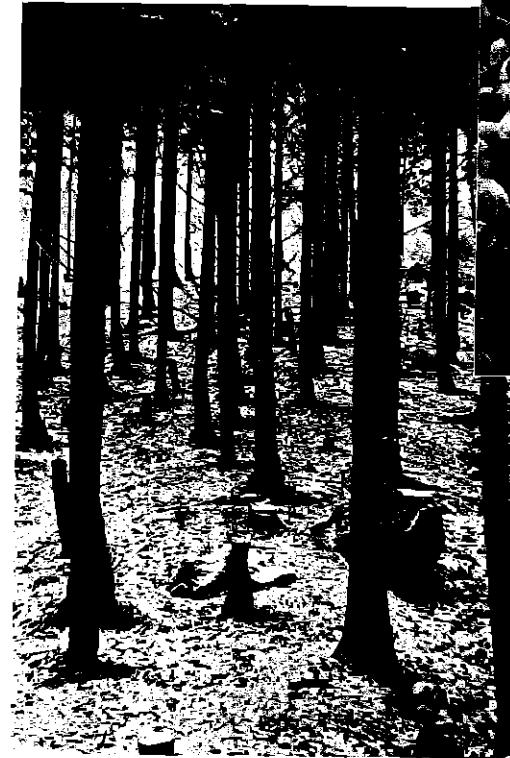
区分	耕地			採草放牧地	山林	原野	宅地	その他	計
	田	畑	計						
面積	783.8ha	359.9	1,143.7	1448.4	5,812.1	963.2	2,001.8	1,057.4	12,426.6
比率	6%	3	9	11	47	9	16	8	100



温熱利用植物園



畜産品評会



育ちゆく市有林



早朝の魚市場

漁船数

区分	経営体数	無動力船数	動力船数	無動力船屯数	定置網		地曳
					大型	小型	
所有数	312戸	270隻	169隻	672.8屯	2隻	167隻	4
漁協	3	3	3	3	1	3	2

漁業種別漁船

区分 漁業種別	無動力船		動力船				計	
	隻数	トン数	5トン未満 隻数	5トン未満 トン数	5~15トン 隻数	5~15トン トン数	隻数	トン数
小型底曳		屯	38	70.3	2	12.63	40	82.93
海藻採取	14	15.40					14	15.40
イサリ	82	90.20	11	12.71			93	102.91
タコツボ	7	10.50	2	2.55			9	13.05
樽網	8	8.80	8	11.96			16	20.76
沖碇網	8	12.00	15	17.33			23	29.33
いわし舟曳	20	44.00	14	25.56			34	69.56
あじ舟曳	6	13.20	7	8.91			13	22.11
さより舟曳			4	5.09			4	5.09
地曳網	4	6.00					4	6.00
手繰網	29	63.80	21	46.2			50	110.00
築磯一本釣	43	43.00	5	7.80			48	50.80
かます網	2	3.00					2	3.00
いわし揚網	15	22.50	5	11.07			20	33.57
ほら罟刺網	9	13.50					9	13.50
さわら流網			2	6.13			2	6.13
延縄	4	6.00	8	10.30			12	16.30
かつを流網	1	1.50	4	4.68			5	6.18
三重網	3	4.50	6	8.21			9	12.71
小巾番網			1	1.38			1	1.38
かに玉網			16	29.60			16	29.60
その他	15	22.50					15	22.50
計	270	380.40	167	279.78	2	12.63	439	672.81

主要食品消費量

(単位 Kg) 昭 34. 1 ~ 34. 12

品目	内地米	外地米	雑穀	鮮魚
消費量	8,949,626	2,042,325	10,751,050	4,661,350

屠畜

昭 34. 1 ~ 34. 12

種別	牛	馬	豚	鶏	山羊、羊、その他
頭数	1,168	65	2,024	24	16

煙草消費量

昭 33. 4 ~ 34. 3

品目	数量	金額	品目	数量	金額
割日	930,400	1,395,600	パツト	9,199,600	13,664,400
富上	540,050	2,700,250	ききよう	2,294,100	4,588,200
ピース	17,834,400	71,337,600	みのり	1,933,500	2,900,250
光	5,955,300	17,865,900	富貴煙	77,000	11,550
パール	3,368,000	10,104,000	アストリア	4,000	120,000
いこい	34,576,000	86,440,000	桃山	54,000	1,620,000
みどり	6,795,600	16,989,000	日光	40,000	50,100
新生	79,830,400	159,660,800	(計)	163,342,430	389,447,650

(日本専売公社別府出張所調)

酒類消費量

(単位リットル)

昭 34. 1 ~ 34. 12

品 目	清 酒	合成酒	焼 酎	み りん	ビール	果実酒	雑 酒
消 費 量	1,213,004	66,745	381,636	7,072	21,570,006	520	110,424

(別府税務署調)

映 画・演 劇

区 分	館 数	収 容 人 員	年 間 入 場 人 員
邦 画 封 切	10	5,100	1,491,000
洋 画 封 切	2	600	306,000
邦 画 再 映	12	2,700	1,076,000
洋 画 再 映	1	200	60,000
演 劇	2	800	31,000

(別府税務署調)

(註) 館数、収容人員 34. 12 現在
年間入場人員は 34. 1 ~ 34. 12 までの一年間

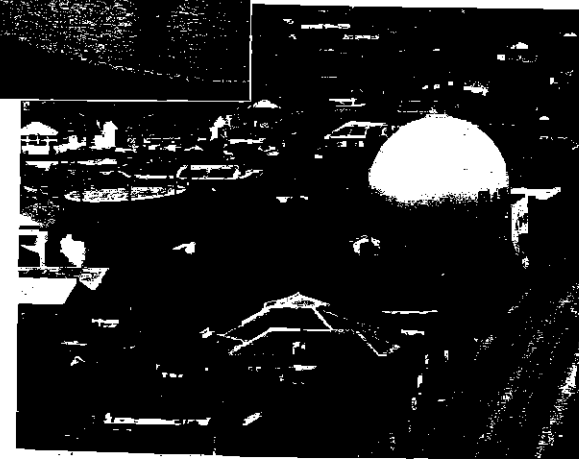
住 宅 状 況

(昭 30 国勢調査結果表)

種 別	普 通 世 帯					準 世 帯				
	世帯数	世帯員	一世帯当り人員	骨数	一人当り量	世帯数	世帯員	一世帯当り人員	骨数	一人当り量
市 総 数	22,366	93,833	4.20	—	—	2,051	8,497	4.14	—	—
住 宅	22,174	93,165	4.20	288,281	3.09	1,827	4,929	2.70	16,865	3.42
持 家	9,244	44,782	4.84	165,275	3.69	0	0	—	0	—
借 家	8,598	33,595	3.91	87,807	2.61	59	302	5.12	850	2.81
給与住宅	658	2,648	4.02	9,308	3.52	40	272	6.80	767	2.82
間 借	3,674	12,140	3.30	25,891	2.13	1,728	4,355	2.52	15,248	3.50
不 詳	0	0	—	0	—	0	0	—	0	—
寄 宿 舎	2	5	2.50	—	—	66	1,409	21.35	—	—
下 宿 屋	3	11	3.67	—	—	21	87	4.14	—	—
そ の 他	187	652	3.49	—	—	137	2,072	15.12	—	—



市街を眼下に見下す乙原水源地



別府ガスの大型タンク

ガ ス

昭 34. 1 ~ 34. 12

区 分	供 給 戸 数	孔 口 数	供 給 量	料 金
家 庭 用	2,556	5,112	913,995m³	17,923千円
工 業 用	7	70	35,639	698
医 療 用	68	272	113,809	2,231
商 業 用	631	1,578	1,257,399	24,657
そ の 他	10	45	18,736	366
計	3,272	7,077	2,339,578	45,875

(別府ガス社調)

水 道

昭 34. 12 末現在

総 人 口	給 水 人 口	普 及 率	計 画 給 水 人 口
104,178 人	90,267 人	86.65%	91,000 人

配水量

(単位 立方米)

昭 34. 1 ~ 34. 12

地区	別府地区	亀川地区 (北石垣、上人)	朝日地区 (柴石、野田、羽室)	計
消費量	5,013.808	3,128.038	564.639	8,706.485

給水栓数及び世帯数

昭 34. 1 ~ 34. 12

地区	種別	普通水栓	公役水栓	温泉水栓	船舶水栓	給水戸数
別府地区		8,558	162	59	4	17,510
亀川地区		2,067	34	12	—	3,148
朝日地区		603	6	4	—	783
計		11,228	202	75	4	21,441

電灯電力需用概況

供給種別	契約口数	灯個数 Kw	使用量 KWH	料金額	
電 灯	定額電灯	3,462	7,276灯	1,122,432	15,084,110 円
	従量電灯	21,148	195,757灯	13,428,929	165,542,681
	大口電灯	425	3,313Kw 176灯	3,779,424	50,042,395
	臨時電灯	54	3Kw 203,209灯	26,817	324,325
	計	25,089	3,316Kw	18,357,596	230,993,511
電 力	業務用電力	24	1,675Kw	2,637,122	27,018,780
	小口電力(50Kw未満)	1,018	4,476	3,895,300	41,528,839
	小口電力(50Kw以上)	14	1,630	4,793,421	28,820,285
	臨時電力	15	20	13,563	219,562
	計	1,071	7,783	11,339,406	97,587,466
合計	26,160	203,203 11,089	23,697,002	329,580,877	

(九電別府営業所調)

(註) 使用量及び料金額は 昭34.1~34.12の一ケ年間
料金額には電気税を含む

銀行予金

(単位 千円)

昭 34. 12 現在

当座予金	普通予金	通知予金	納税準備予金	定期予金	定期積金	その他	合計
518,022	869,259	148,831	3,752	2,244,909	333,307	58,677	4,176,757

(大分県銀行協会調)

銀行貸付

(単位 千円)

昭 34. 12 現在

手形貸付	証書貸付	当座貸越	割引手形	合計
1,685,369	14,400	11,647	302,767	2,014,183

(大分県銀行協会調)

信用金庫相互銀行予金

(単位 千円)

昭 34. 12 現在

当座予金	普通予金	通知予金	相互積金	定期予金	定期積金	政府関係	その他	合計
169,547	593,520	31,782	761,706	1,949,672	316,617	2,800	11,833	3,944,277

(大分県銀行協会調)

信用金庫相互銀行貸付

(単位 千円)

昭 34. 12 現在

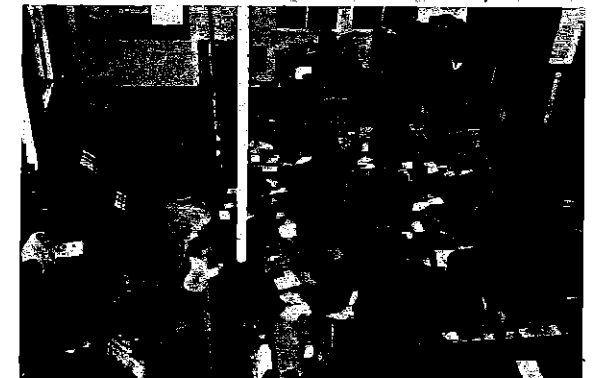
手形貸付	証書貸付	当座貸越	割引手形	給付金	合計
2,344,503	221,170	1,962	102,481	654,529	3,324,645








(大分県銀行協会調)

金融機関

昭 34. 12 現在

普通銀行	10
信用金庫	8
相互銀行	5
郵便局	10
農協	4
生命会社	7
火災海上保険会社	11
証券会社	8
質屋	77



出生  1日 3.65人	転入出  1日 転入10.1人 転出10.2人
婚姻  1日 1.98組	食品  1日 野菜一人に 263g 魚介一人に 114g
死亡  1日 2.23人	観光客  1日 8.251人
離婚  2.6日 1組	映画  1日 8.120人
市吏員  市民 102人に1人	煙草  1日 447.513本
警察官  市民 861人に1人	ラジオテレビ  ラジオ 2世帯に 1台 テレビ 90世帯に 1台
消防員  (常勤)市民 1,898人に一人 (非常勤)市民 247人に一人	火災  46.2日に1件
市民税  市民1人に 2,370円	温泉  一昼夜 72,000円 (40万石)



母子福祉資金

(単位円)

昭 34. 1 ~ 34. 12

資金種目	生業資金	支授資金	技能修得資金	生活資金	職業訓練資金	住宅補修資金	修学資金	修業資金
件数	2	7	—	—	20	—	176	3
支出金額	100,000	105,000	—	—	600,000	—	838,600	16,500

生活保護法による保護状況

(単位円)

昭 34. 1 ~ 34. 12

扶助種目	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	出産扶助	葬祭扶助	生業扶助
人員	25,282	17,779	8,530	9,870	3	39	3
支出金額	21,032,879	2,554,846	2,956,268	56,848,301	16,024	172,302	12,340

行旅病人及び行旅死亡人

(単位円)

昭 34. 1 ~ 34. 12

種別	行旅病人	行旅死亡人
人員	33	17
金額	126,021	37,127

社会事業施設

昭 34. 12 現在

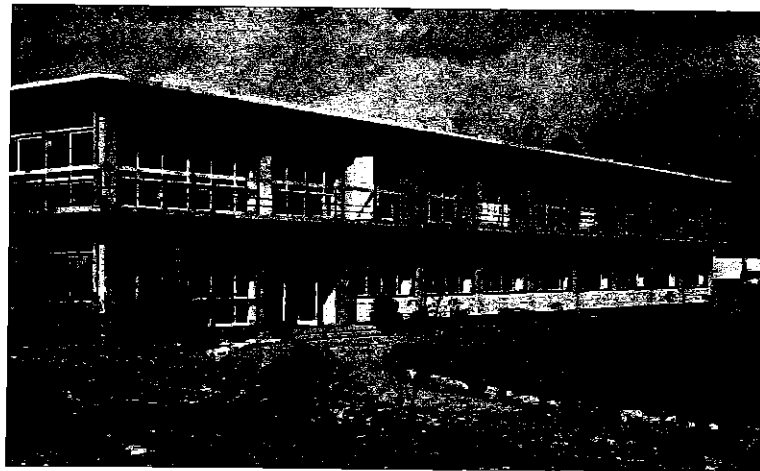
施設名	種別	定員	現在数	職員数	経営主体	施設長名	開設年月日	所在地
別府市中央保育所	保育	150	150	11	別府市	荒金啓治	昭 26. 6. 18	南末広町
別府隣保館	〃	130	130	9	個人	首藤得雄	昭 3. 5. 1	富士見町
さくらんぼ保育園	〃	60	60	6	財団法人	永見 潔	昭 27. 6. 10	南野口町
聖人保育園	〃	50	50	6	個人	国東義隆	昭 28. 2. 20	上人町
亀川保育園	〃	50	50	5	〃	高橋堯信	昭 30. 11. 1	亀川中町
鉄輪保育園	〃	60	60	5	財団法人	東 綾香	昭 33. 5. 1	火売区
小百愛児園(本園)	養護	85	83	13	福祉法人	マルゲリタ・ピアンコ	昭 8. 10. 6	浦田町
小百愛児園(本園)	乳児	20	20	11	〃	〃	〃	〃
小百愛児園(分園)	養護	150	38	8	〃	モツタ・マリア	昭 20. 9. 24	上原町
光の園白菊寮	〃	45	43	9	〃	長田シゲ	昭 21. 9. 1	荘園町
平和園	〃	40	35	7	〃	加藤正登	昭 25. 3. 9	上野口町
栄光園	〃	58	58	11	〃	小野小福	昭 27. 4. 1	荘園町
別府養老院	養老	60	62	9	〃	矢野彌雄	大 14. 10. 5	富士見町
紅葉寮	〃	70	69	10	〃	小浜ミサ子	昭 22. 8. 1	山家町
別府厚生館	母子	8	8	1	〃	若田大作	昭 22. 6. 30	不老町
別府厚生館(新寮)	〃	12	12	3	〃	〃	昭 32. 1. 1	南末広町
別府整肢園	医療	100	95	44	〃	松本 利	昭 32. 10. 21	鶴見原
別府市行旅病舎	救護	30	32	1	別府市	荒金啓治	明 35. 一	東野口町



無心に遊ぶ保育園の子供



音楽に聞き入る整肢園の子供達



近代的設備を誇る簡易保険郵便年金加入者ホーム(海南荘)

公営住宅

昭 34. 12 現在

公営住宅	戸数	収容人員
庶民住宅	138	482
災害住宅	59	244
母子住宅	20	60
引揚者住宅	109	428
労働者住宅	12	50

基金

(単位円)

昭 34. 12 現在

目 標 額			実 績 額		
総 額	共同募金	日赤募金	総 額	共同募金	日赤募金
28,700,400	1,555,400	1,315,000	2,114,149	1,011,842	1,102,307

安定所への来所

昭 34. 1 ~ 34. 12

月別	区分											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新規求職	1,969	925	1,063	875	973	913	836	1,063	926	843	885	736
求職再来	3,386	4,089	3,690	3,942	3,575	3,709	4,135	3,682	3,740	3,980	3,223	3,160

失業保険受給状況

昭 34. 1 ~ 34. 12

性別	区分					
	離職票受付件数	受給資格決定件数	待期満了者数	初回受給者数	保険金支払実人員	保険金支払総額
男	967	959	969	930	5,413	41,634,038円
女	606	605	624	570	3,735	16,454,495

失業対策事業

昭 33. 4 ~ 34. 3

事業種目	労力費	事務費	資材費	計	稼働人員
土地整備事業	15,102,682	2,265,886	1,378,002	18,746,570	57,434
道路整備事業	23,215,911	5,384,398	6,085,422	34,685,731	87,815
水道整備事業	12,596,181	2,289,148	2,149,751	17,035,080	47,687
営造物整備事業	2,518,973	573,014	1,241,979	4,333,966	9,522
保健衛生整備事業	8,372,378	1,256,365	—	9,628,743	31,864
管理監督要員	2,203,646	451,273	—	2,654,919	6,491
夏季対策分	1,102,176	—	—	1,102,176	4,128
年末対策分	2,787,480	—	—	2,787,480	10,440
計	67,899,427	12,220,084	10,855,154	90,974,665	255,381



市営尖対策事業現場



医療施設

昭 34. 12 現在

病	院			診療所	歯科診療所	診療所	獣医学	獣医学	保健所
	個人	法人	公営						
個人	7	5	7	3	82	52	33	5	1

(大分県別府保健所調)

医療関係従事者数

昭 34. 12 現在

医	婦科	薬剤	獣	助産	看護	保健	診療	鍼灸	衛生	栄養	交換
師	医師	師	師	師	師	師	師	師	師	師	師
215	64	109	6	74	628	9	28	247	127	4	40

(大分県別府保健所調)

予防接種実施状況

昭 34. 1 ~ 34. 12

区	分	腸パラチフス	日本脳炎	種	痘	ジフテリア	インフルエンザ	小児マヒ	百日咳
該当人員		72,900	希望	6,080	7,980	希望	希望	4,150	
実施完了者数		24,191	2,111	5,394	5,423	5,695	45	1,465	

(大分県別府保健所調)

法定伝染病発生及び死亡数

昭 34. 1 ~ 34. 12

コレラ		細菌性痢疾		疫痢		アメーバ性痢疾		腸チフス		パラチフス		痘 毒	
発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡
-	-	(2) 13	-	(1) 3	-	-	-	-	-	1	-	-	-

発しんチフス		しよう紅熱		ジフテリア		流行性脳脊髄炎		ペスト		日本脳炎		食中毒	
発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡
-	-	1	-	(1) 39	1	-	-	-	-	(2) 8	5	76	1

(註) () 内の数字は疑似

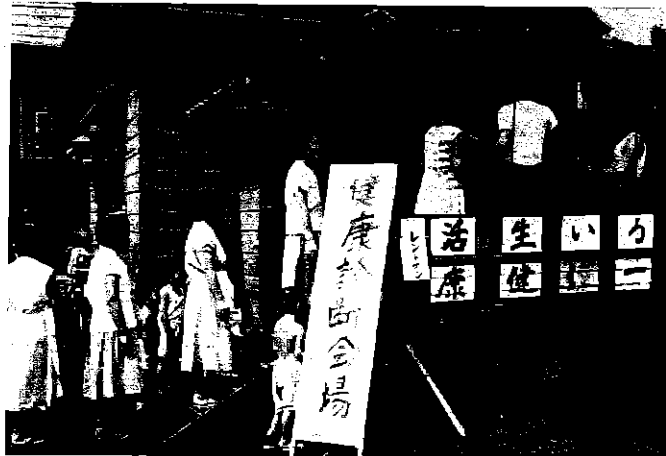
(大分県別府保健所調)

結核予防接種及び健康診断

昭 34. 1 ~ 34. 12

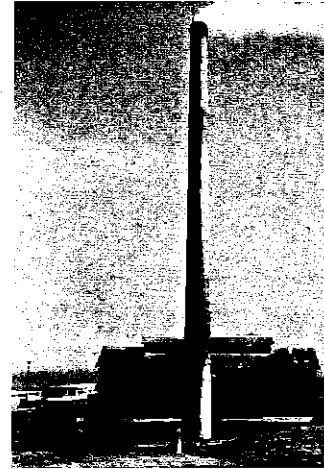
区 分	被検者数	陽性者数	陰性者数 (疑陽性を含む)	D C G 接種者数	レントゲン		要注意者数
					間接撮影	直接撮影	
小中学生	22,558	18,749	3,379	3,328	20,008	742	46
一般住民	3,619	1,868	694	402	10,318	1,199	250

(大分県別府保健所調)



定期健康診断 受診風景
巡回健康診断会場

じん芥焼却場



山田貯留槽

塵 芥

昭 34. 1 ~ 34. 12

塵芥搬出車 車輛数		塵芥搬出量	対象戸数	搬出人員 数
普通自動車	三輪車			
4台	7台	11,571.941.9kg	20,851世帯 86,882人	36人

尿 尿

昭 34. 1 ~ 34. 12

車 輛 数				し 尿 搬 出 量				対象戸数	搬出人員 数
市		業 者		市		業 者			
真空式 タンク (四輪)	真空式 タンク (三輪)	真空式 ポンプ車	普通タンク 三輪車	市貯留 槽入	農 家 元 還	市貯留 槽入	農 家 元 還		
5台	1台	10台	7台	1,103kg	18,871kg	17,76kg	2,340kg	20,851世帯 86,882人	12人

妊産婦届出数

昭 34. 1 ~ 34. 12

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
人 員	123	162	139	128	116	140	140	145	171	157	146	145	1,712

消 毒 状 況

昭 34. 1 ~ 34. 12

区 分	公 共 用 施 設		個 人 用 施 設	
	人 頭 (戸) 数	床 面 積	人 頭 (戸) 数	床 面 積
粉末ダスティング	2人	609坪	—	—
液体スプレイング	1,021戸	7,366.72坪	1,630戸	9,117.5坪

埋 火 葬 状 況

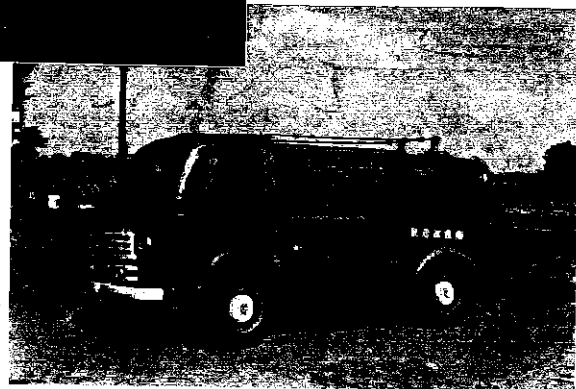
昭 34. 1 ~ 34. 12

区 分	埋 葬				火 葬					
	市 民	死 産 児	計	一 日 平 均 埋 葬 数	市 民	非 市 民	死 産 児	計	一 日 平 均 火 葬 数	
總 数	1,386人	51人	136人	187人	0.51人	662人	217人	320人	1,199人	3.28人



新型じん弁車
バツクマスター

市営火葬場



本市の交通路は隆海共に地形にめぐまれ陸は電車バスの路線は勿論陸の玄関ともいわれる日豊線別府駅を起点とする上りは小倉、門司を経て阪神遠くお関東方面まで下りは大分県より高崎、鹿児島へ通じ大分県中豊肥線（熊本、佐賀、長崎）及び久大線（福岡）を結ぶ九州各地との交通も多くまた海では関西汽船による阪神地方或は中国、四国その他海上遠隔地とも連絡をもち海の玄関ともいふ交通機関は観光法と共に一層発展しつつある。

国 鉄 月 別 乗 降 客 数

昭 34. 1 ~ 34. 12

月 別	電		川 別		府 東 別 府	
	乗 車 人 員	降 車 人 員	乗 車 人 員	降 車 人 員	乗 車 人 員	降 車 人 員
1 月	29,854	33,980	177,057	176,030	25,988	23,403
2 月	29,221	31,895	167,372	160,465	24,689	22,880
3 月	30,892	34,100	186,466	179,129	24,642	22,211
4 月	33,650	34,416	203,899	188,107	26,394	23,059
5 月	30,153	33,401	220,459	193,538	25,677	23,018
6 月	30,073	31,544	160,382	159,343	24,027	22,641
7 月	29,939	32,263	151,166	154,344	23,846	22,015
8 月	34,393	36,679	191,672	186,118	27,785	25,411
9 月	26,996	29,195	141,697	146,097	23,131	21,331
10 月	27,675	29,872	196,452	184,108	24,440	22,497
11 月	50,117	33,084	187,593	182,546	26,561	23,517
12 月	38,884	31,275	152,704	148,452	22,856	22,748
計	334,847	391,704	2,146,919	2,057,277	300,006	274,744
日平均	922	1,073	5,881	5,636	821	752

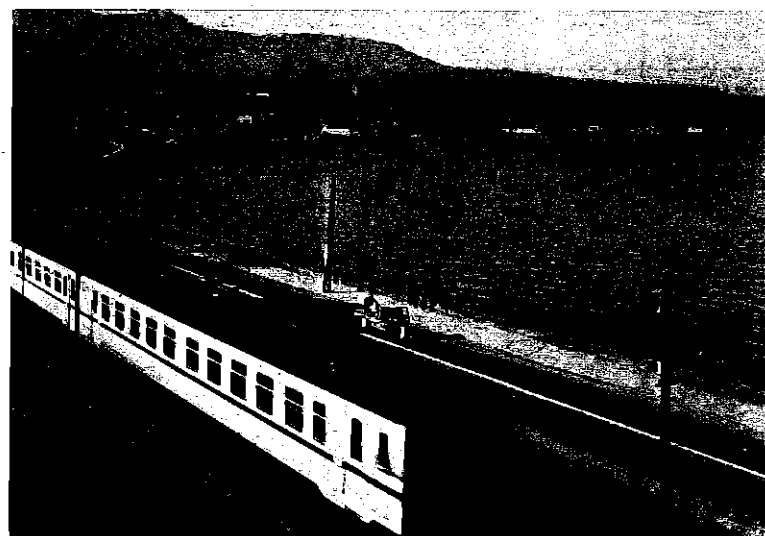
(大分県庁管理局調)

手小荷物 貨物月別発着数

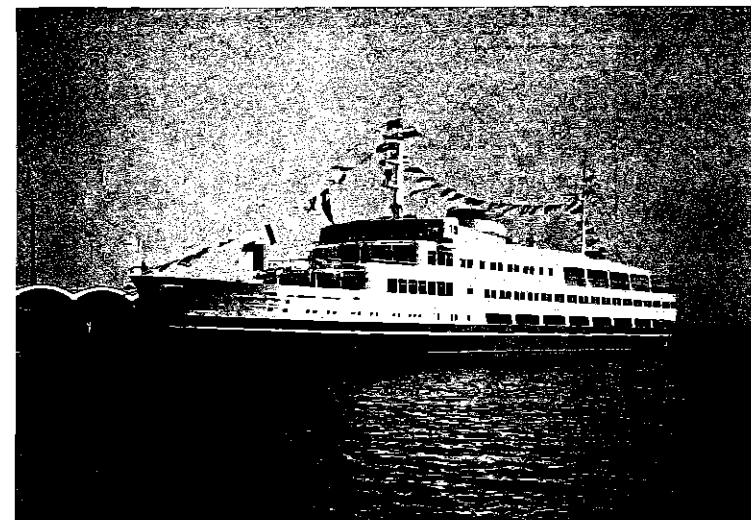
昭 34. 1 ~ 34. 12

月別	電 川				別 府				東 別 府			
	手小荷物		貨 物		手小荷物		貨 物		手小荷物		貨 物	
	発送個数	到着個数	発送屯数	到着屯数	発送個数	到着個数	発送屯数	到着屯数	発送個数	到着個数	発送屯数	到着屯数
1 月	871	2,470	739.5	268.0	4,761	14,921	1171.3	3946.7	40	578	—	—
2 月	1,047	2,605	251.2	250.8	4,679	15,663	1181.6	4472.9	408	608	—	—
3 月	1,363	2,968	268.1	438.4	5,875	17,960	1308.1	5152.3	451	654	—	—
4 月	1,401	3,656	353.5	459.4	5,300	18,817	1174.5	4791.6	516	632	—	—
5 月	1,281	3,012	220.0	334.5	4,466	17,923	1018.3	4463.6	452	487	—	—
6 月	1,012	2,881	824.2	668.4	4,176	16,653	941.2	4245.3	539	432	—	—
7 月	1,188	2,733	329.8	972.6	4,309	16,751	1126.3	3963.3	585	393	—	—
8 月	1,026	2,506	366.7	693.0	4,837	15,526	1151.5	4162.0	474	372	—	—
9 月	957	2,858	295.2	652.8	4,683	16,320	1204.3	4443.9	430	422	—	—
10 月	1,081	2,779	219.8	482.8	5,704	20,714	1262.9	5228.4	549	454	—	—
11 月	704	2,701	274.2	396.3	5,395	18,256	1276.1	4611.6	362	456	—	—
12 月	1,089	3,331	254.9	424.7	6,737	22,620	1435.4	4760.0	587	521	—	—
計	13,040	34,500	3897.1	6041.7	60,922	212,124	14251.5	54241.6	5,793	6,004	—	—

(大分鉄道管理局調)



快走列車ひかり号



別府航路に就航した観光船 くれない丸

航路別乗降人員

昭 33. 12 ~ 34. 11

月別	区分 項目	大 阪 ~ 別 府 線		呉・広島 ~ 別 府 線		宇和島 ~ 別 府 線	
		乗船者数	降船者数	乗船者数	降船者数	乗船者数	降船者数
12 月		8,036	9,163	881	1,647	5,403	3,391
1 月		14,663	11,405	1,034	1,966	4,545	3,768
2 月		13,553	13,121	1,632	1,861	4,889	4,003
3 月		37,653	32,561	2,513	3,610	6,483	6,003
4 月		37,341	33,034	2,937	3,031	5,378	4,623
5 月		41,353	35,254	3,034	4,014	6,073	4,729
6 月		16,434	11,432	1,542	2,340	3,404	2,800
7 月		12,011	10,765	1,516	1,681	4,123	3,255
8 月		19,055	14,637	1,733	2,530	7,134	5,596
9 月		12,530	10,835	1,245	1,802	4,326	3,251
10 月		25,430	23,878	3,177	3,609	5,422	5,132
11 月		23,405	19,929	2,426	3,238	5,386	5,152
計		262,400	226,519	23,775	31,338	62,565	51,728

(関西汽船KK調)

階級別入港船舶屯数

昭 34. 1 ~ 34. 12

種 別	汽 船		帆 機 船		帆 船		計	
	隻 数	総 屯 数	隻 数	総 屯 数	隻 数	総 屯 数	隻 数	総 屯 数
3,000屯未満	752	1,166.965	—	—	—	—	752	1,166.965
500屯未満	1,356	577.218	154	42.887	53	15.970	1,563	636.075
100屯未満	—	—	335	43.071	55	14.630	390	57.701
計	2,108	1,744.183	489	85.958	108	30.600	2,705	1,860.741

(大分県別府土木事務所調)

諸 車 台 数

昭 34. 12 現在

区 分 種 別	乗用車	バス	小型 乗用車	原付 自転車	軽自動 二輪車	トラク ト	小型 三輪車	特殊車	消防車	小型 貨物車	自動 二輪車	計
	官 公 庁 用	21	3	4	36	9	26	16	17	18	13	
自 家 用	58	—	155	1,728	1,080	149	745	31	—	425	49	4,883
営 業 用	23	103	207			53	54	2	—	21		
計	102	106	366	1,764	1,089	228	815	50	18	459	51	5,048

(大分県別府県税事務所調)

交通事故発生件数

昭 34. 1 ~ 34. 12

区 分	歩 行 者	目 転 車	原 動 機 付 自 転 車	軽 自 動 車	乗 合 自 動 車	普 通 自 動 車	乗 用 小 型 四 輪 車	貨 物 小 型 四 輪 車	小 型 三 輪 車	そ の 他 の 動 車	そ の 他 の 馬	乗 客	そ の 他 の 人	物 件 そ の 他	計
負 傷	52	18	24	11	1	1	1	1	8	2	2	5	20	5	151
死 亡	6	—	—	1	—	—	—	—	1	1	—	—	4	1	14

(別府警察署調)

郵 政 施 設 数

昭 34. 12 現在

区 分	普 通 局	集 配 特 定 局	無 集 配 特 定 局	郵 便 切 手 收 入 印 紙 所	ポ ス ト
別 府 局 管 内	1	—	8	93	97
亀 川 局 管 内	—	1	1	11	13
計	1	1	9	104	110

(別府郵便局調)



別 府 郵 便 局



別 府 電 報 局

郵 便 取 扱 数

昭 34. 1 ~ 34. 12

種 別	普 通 郵 便		書 留 郵 便		小 包 郵 便	
	引 受	配 達	引 受	配 達	引 受	配 達
別 府 郵 便 局 扱	6,063,015	6,081,995	116,800	225,570	98,185	142,350
亀 川 郵 便 局 扱	648,970	1,221,290	12,346	23,320	12,446	16,989
計	6,711,985	7,303,285	129,146	248,890	110,631	159,339

(別府郵便局調)

電 報 取 扱 数

昭 34. 1 ~ 34. 12

発 信		着 信		中 継		計	
国 内	外 国	国 内	外 国	国 内	外 国	国 内	外 国
149,233	50	125,352	37	61,830	6	336,415	93

(別府電報局調)

電信電話施設

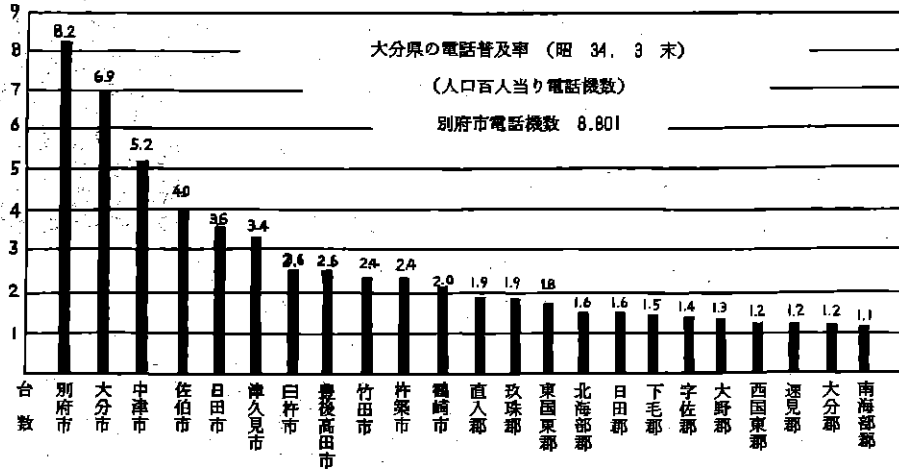
昭 34. 12 現在

電		報		電				話	
直 営 局	委 託 局	簡 易 委 託 受 付 所	サ ー ビ ス ス テ ー シ ョ ン	電 話 局	通 話 局	普 通 公 衆 電 話 (ボックス)	簡 易 及 委 託 公 衆 電 話		
1	10	81	1	1	10	9	81		

(別府電報局・電話局調)

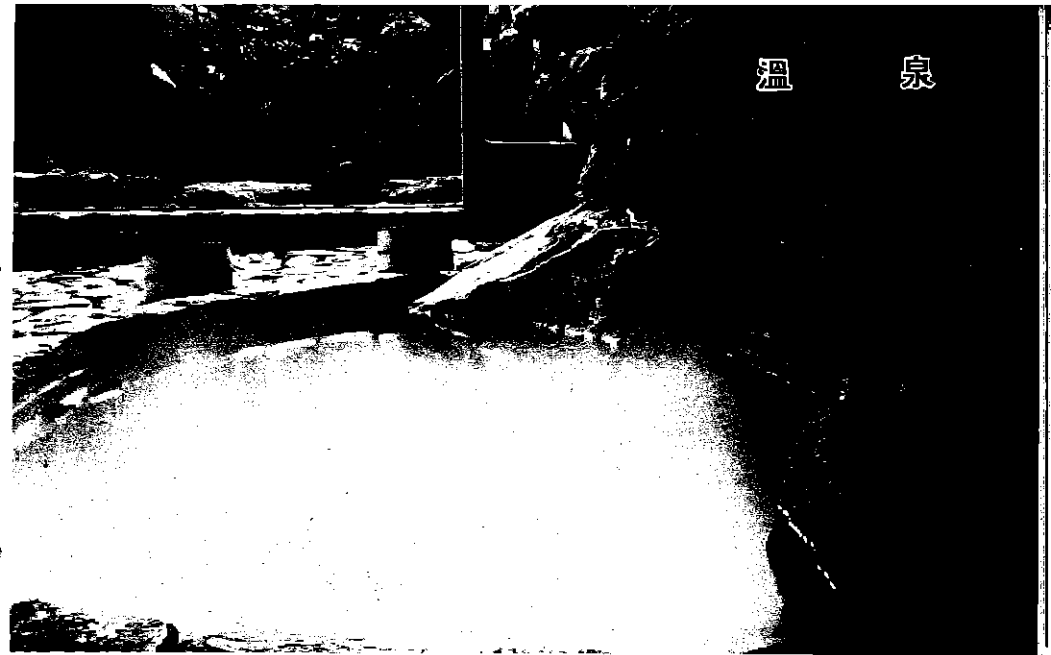
電話の普及

(大分県電気通信部調)



別府電話局

温 泉



温 泉

本市は温泉と風光に恵まれ、阿蘇及び瀬戸内海の二大公園を結ぶ温泉地であり、泉質の多種多様であること、湧出量の豊富なこと、湧出範囲の広いこと、蓋し世界第一と言われる。この別府温泉の起源は遠く神代にありとされ、豊後風土記並びに伊予風土記に少彦名命が大分連見の湯を浴んで大己貴命に浴せしめてその病を癒したとあり、その後神徳天皇の御代に日子三依が別府に温泉を開いて薬師堂を建てたと伝えられている。現在の別府市は温泉と景趣さまざまな自然美に恵まれていることは昔にかかわらず、更に数多くの近代的施設が備わり更に別府温泉地である。又厚樫原の施設など医療施設も完備し温泉療養地としても最速の地であり、別府温泉こそ平和の復興に寄与せんとする国民の健康と資源、体力増進のオアシスであり明日への飛躍に備へるよき休養地である。この豊富な温泉を有する別府はその良き風光と共に世界の観光地として将来の発展を約束されている。

温 泉 数

年度末現在	本 年 度 異 動 別				
	区 分	掘 さ く	認 定	増 掘	閉 孔
公共浴場	868				
自家用浴場	728	公共浴場	52	57	21
停 止	996	自家用浴場	4	0	7
計	2,592	計	56	5	64

地 区 別 温 泉 数

旧 市 内	毫 川	朝 日	石 垣	南 立 石	計
1,312	509	83	80	157	2,141

温泉案内



別府温泉

別府温泉群の中心にあつて市営、区営、共同浴場合せて80余ヶ所旅館その他にある内湯の数は千を以て数える程である湧出口は4000余、一昼夜の湧出量は72000Kℓに及ぶと推定され保健や療養に大きな役割をはたし治療には数多くの効能がある。

交通 関西汽船、日豊線別府駅下車附近一帯
特色 保養並に慰安向

浜脇温泉

浜脇は朝見川を堺にして市内の南部にあり特異の雰囲気有する温泉場である南方にはヘルメツト型をした野猿で有名な自然動物園高崎山が見え附近には浜脇公園、別府水族館等がある

交通 東別府駅下車附近一帯
特色 保養並に慰安向

堀田温泉

鶴見岳の東麓にあつて、三方は山々に囲まれ前面は遙かに海光を望む車馬の出来る野趣豊かな温泉場である。当温泉場には堀田地獄がありこの噴気孔を利用して水を50°Cの温水とし各地に引湯浴場の便を計っている

交通 別府駅から西北6軒バス便あり
観海寺温泉の西2軒

観海寺温泉

観海寺山の中腹にあつて後に鶴見岳を負い高い崖の上の一つの温泉郷を成している。前面には別府温泉を見下し、眺望よき別府湾の先には四国の山々が遙かに望まれる別府の諸温泉中展望地としても最適な場所である

交通 別府駅から西約3軒バス便あり
特色 保養並に療養向



観海寺温泉場

明礬温泉

鶴見岳の北脈明礬山の東麓にあつて、海拔400米程の高い所で、溪流があり、瀑布があり、温泉の湧出もある。海山の眺望がよく紅葉の頃は最も優れた景趣を現わす。

交通 別府駅から西北10軒亀川駅から7軒バスの便あり
特色 療養向

柴石温泉

鶴見岳北麓の谷間にあつて風致に富んでいる、温泉は岩石の隙間から湧出し泉となり、滝となつている

交通 亀川駅から西2軒 バスの便あり
特色 療養向



鉄輪温泉

別府の西北に位し鶴見岳の前山にある扇山の東北にある。土地は高い所で海山の眺望がよく東には別府温泉、別府湾を遙かに眺め西には由布、鶴見等の各山々を負い南には編山がある。

温泉の豊富なることは別府温泉に劣らない。

交通 亀川駅から西南4軒、別府駅から6軒
柴石から南800米 バス便あり
特色 保養並に慰安向

亀川温泉

別府の最北部にあつて別府温泉と同じく海辺の温泉場で繁華な一郭をなし附近には上人ヶ浜公園があり、地獄めぐりの通路となつている

交通 日豊線亀川駅下車 附近一帯
特色 保養並に療養向

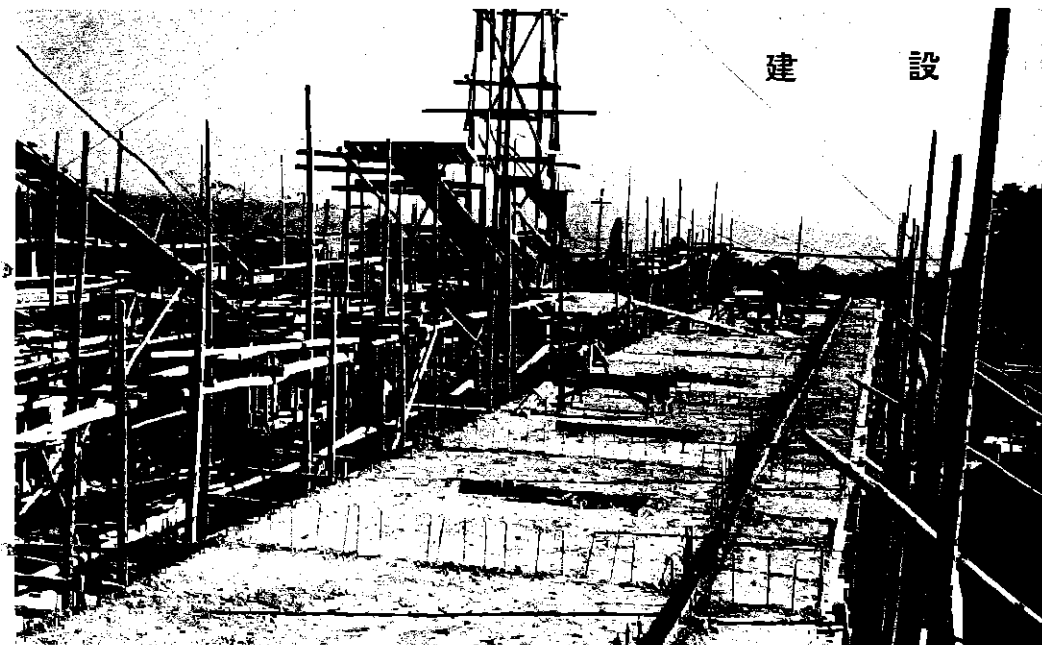


原爆被爆者温泉利用研究所



温泉利用農業研究所

建設



建設計画の主眼

海山と天守の風光、轟きせぬ温泉の二大自然観光資源の整備により観光温泉都市にするるとともに、内外の客を誘致し西日本の国際観光都市となし、原爆治療など多くの温泉の利用度をひろげ文化都市としての性格を備えるものとする

都市計画区域

都市計画区域は昭和10年3月決定され行政区域面積12,873平方軒の内、昭和31年4月編入された日出町、南端村、扶間町の一部を含まない107.90平方軒となっている。

街路計画

区 分	路線数	市 員 別 路 線 数	施 行 済 延 長
一般路線	25	30米2本 26米1本 16米4本 15米1本	6,367米
公園路線	4	12米1本 8米3本	
線 道	3	5米以上3本	

国際観光道路

別府を起点として阿蘇雲仙、長崎に至る九州横断国際観光道路を昭和26年度より継続事業として実施中のもので東京オリンピックを目指して完成に日夜努力している。



石垣土地区劃整理

十万人市民の念願の日豊本線以東、埴川、春木川間面積を約43.8haにわたり、昭和34年度より2ヶ年計画で街路公園水路を整備し国際泉都の建設にふさわしい市街地の実現を目指して目下着々と実施中である。



公園計画

公園建設計画は市街地区域を中心とする一帯に亘り地形、修景、誘致、距離等も勘案して地域の特異性及び利用的に応じて公園の性格を定めて13公園を配置するものとする。

公園一覧表

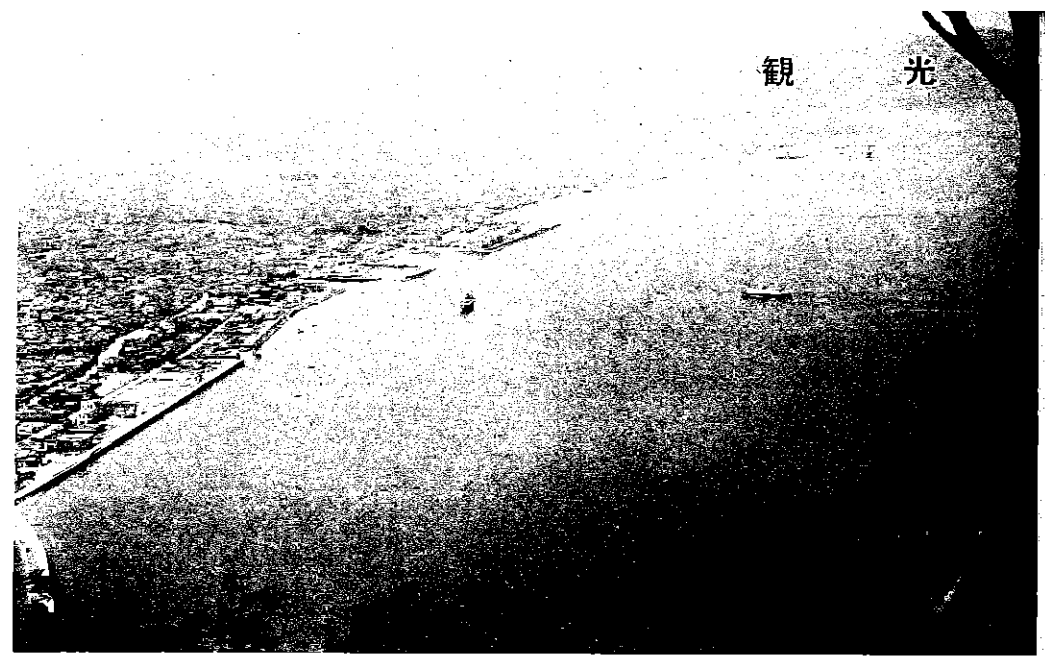
番号	名称	位 置	地 積	主な施設内容
第1号	浜 協 公 園	魚 養 区	8.7ha	パーゴラ、ベンチ、水飲、便所、水族館、遊技場
第2号	海 門 寺 公 園	海 門 寺 区	0.4	便所、パーゴラ、鳥小舎、ブランコ、スベリ台、シーソー、池、テニスコート、野球場
第3号	別 府 公 園	上 原 区	14.2	
第4号	乙 原 公 園	乙 原 区	47.6	
第5号	緑 ケ 丘 公 園	上 原 区	8.8	
第6号	南 立 石 公 園	南 立 石 一	20.4	
第7号	実 相 寺 中 央 公 園	実 相 寺 区	109.3	
第8号	上 人 ケ 浜 公 園	上 人 ケ 浜 区	22.8	ベンチ、水飲場、温熱利用植物館 苑路、花壇、休憩所
第9号	鉄 輪 地 獄 地 帯 公 園	鉄 輪 一 帯	125.8	
第10号	亀 川 公 園	野 田 区	26.8	パーゴラ、卓ベンチ、水飲場、便所
第11号	温 水 公 園	古 市 区	5.4	
第12号	松 原 公 園	松 原 区	0.3	パーゴラ、徒渉池、便所、ブランコ、遊動 円木、野外ステージ、ベンチ
第13号	山 田 見 童 公 園	山 田 区	0.16	便所、徒渉池、壁泉、ブランコ
第14号	油 屋 記 念 公 園	上 原 区		



浜 協 公 園



油 屋 記 念 公 園



年別公営住宅建築戸数

昭 34. 12 末

年 別	種 別	庶 民 住 宅	引 揚 者 住 宅	災 害 住 宅	母 子 住 宅	計
24 年		0 戸	25 戸	0 戸	0 戸	25 戸
25		30	48	10	0	88
26		24	10	23	0	57
27		16	0	20	0	36
28		0	11	3	0	14
29		8	13	11	0	32
30		0	2	13	0	35
31		20	0	0	20	20
32		20	0	0	0	20
33		20	0	0	0	20
34		30	0	0	0	30
計		168	109	00 内 21戸譲渡	20	373 内 21戸譲渡



公 営 住 宅

道 路

昭 34. 1 ~ 34. 12 末

区 分	種 別	延 長	内 訳			舗 装 延 長	非 舗 装 延 長
			巾 員 9m 以上	9m ~ 6m	6m 以下		
国 道		26.852m	11.801m	13.142m	1.909m	23.688m	3.164m
県 道		60.433	670	18.500	41.263	9.645	50.788
市 道		564.004	8.738	66.702	488.564	44.962	519.042
計		651.289	21.209	98.344	531.736	78.295	572.994

別 府 の 観 光 案 内

国際観光温泉文化都市として年と共に一大飛躍を遂げる別府市の観光には天与の風光である美しき山々、雄大な別府湾の景観を始めとし、訪れる人の良き友である地獄めぐり、ケーブルラケット、観光テレビ塔、水族館、温泉プール、大仏、鶴見園、大入瀬海浜公園など数々の施設、更には郊外に足をのぼし、高原の志高湖、城島高原、雄大な眺めのゴルフ場千文字野原ゴルフ、野嶺の奇巖山、内山峡谷等があり、別府市の衛星観光地には耶馬溪、風連温泉、由布川峡谷、湯布院温泉場など本場を模倣したものも多くある。

別 府 へ の 旅

陸 路		海 路	
東 京 以 上	22.30 時間	大 阪 以 上	18.30 時間
各 古 屋	16.40	神 戸	〃 (くれない丸) 12.40
京 阪 神	13.00	高 松	〃 (くれない丸) 7.50
岡 山	10.00	松 山	〃 5.20
広 島	6.50	八 幡 浜	〃 5.30
下 関	2.20	宇 和 島	〃 6.30
博 多	2.50	呉	〃 10.00
鹿児島	6.40	広 島	〃 8.50

昭和33年交通機関別（月）受入観光客数

(単位 人)

月別	種別	鉄 道	航 路	航 空	バ ス	そ の 他	計
1 月		122,144	24,357	548	10,329	44,155	201,533
2 月		98,743	21,234	539	17,211	35,477	173,204
3 月		142,907	44,575	519	37,079	52,148	277,228
4 月		211,087	48,943	566	77,715	61,431	399,742
5 月		236,589	51,661	659	96,054	52,630	437,593
6 月		95,530	18,356	421	41,610	35,282	191,199
7 月		102,524	16,203	358	15,902	47,904	182,891
8 月		132,804	27,040	404	19,448	43,574	223,270
9 月		115,247	19,055	212	17,688	45,844	198,046
10 月		157,476	36,065	394	62,641	47,784	304,360
11 月		125,186	29,913	413	58,187	40,791	254,490
12 月		94,422	18,504	299	10,423	44,652	168,300
計		1,634,659	355,906	5,332	464,287	551,672	3,011,856

昭和33年地方別交通機関別受入観光客数

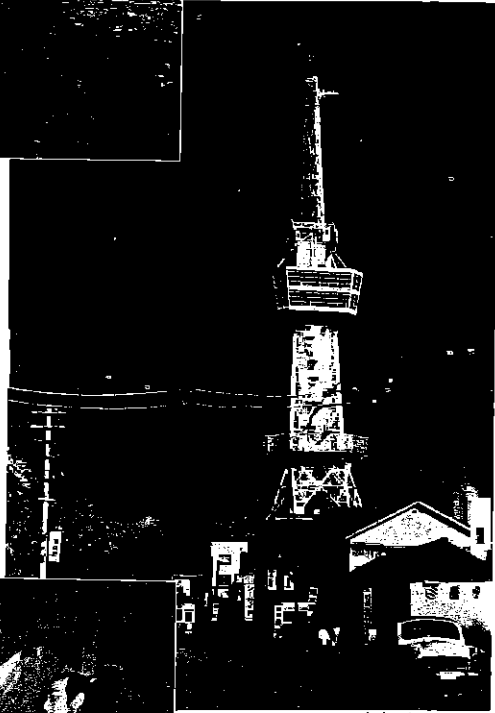
(単位 人)

地方別	種別	鉄 道	航 路	航 空	バ ス	そ の 他	計
北 海 道		1,464	—	—	—	—	1,464
東 北 地 方		2,082	487	—	—	—	2,569
関 東 地 方		17,542	50,626	1,232	—	—	69,400
中 部 地 方		14,084	24,121	864	—	—	39,089
近 畿 地 方		51,148	165,603	1,446	—	—	218,197
中 国 地 方		132,083	45,269	965	33,889	3,899	216,105
四 国 地 方		12,864	69,800	—	—	—	82,664
九 州 地 方		1,391,994	—	—	403,096	513,735	2,308,825
そ の 他		11,398	—	805	27,302	34,038	73,543
計		1,634,659	355,906	5,332	464,287	551,672	3,011,856





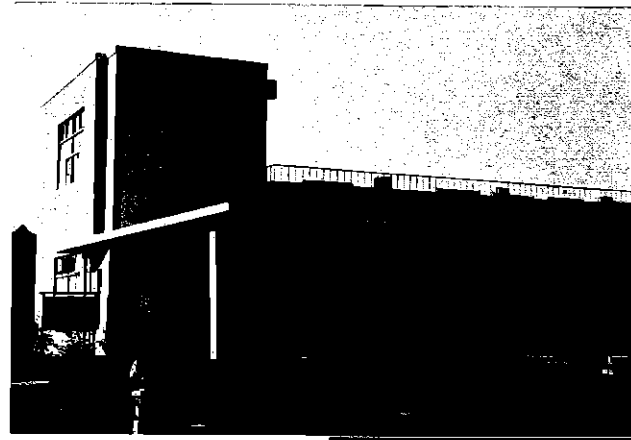
ケーブルラクテンチ



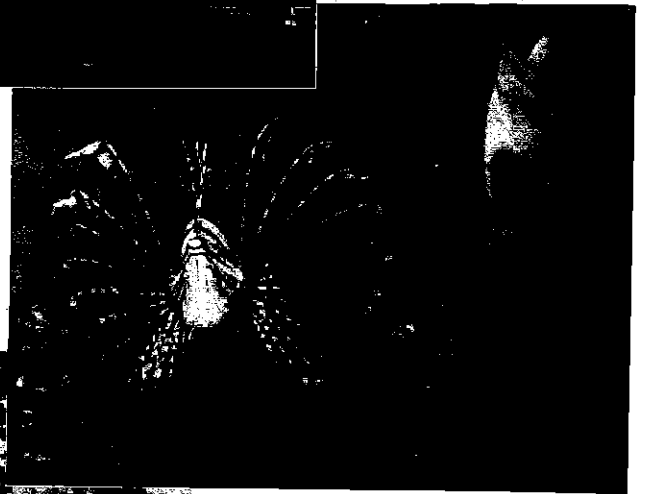
テレビ塔



ラクテンチの菊人形



水族館



鶴見園



温泉プール外観

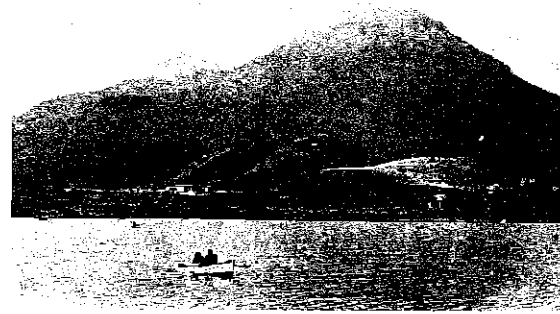


満水した温泉プール



上人浜海浜公園

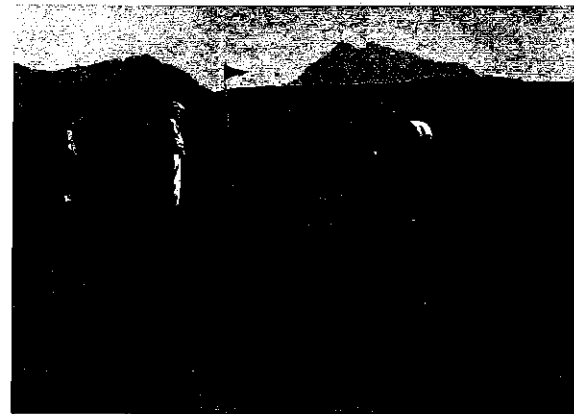
郊外の観光



志高湖



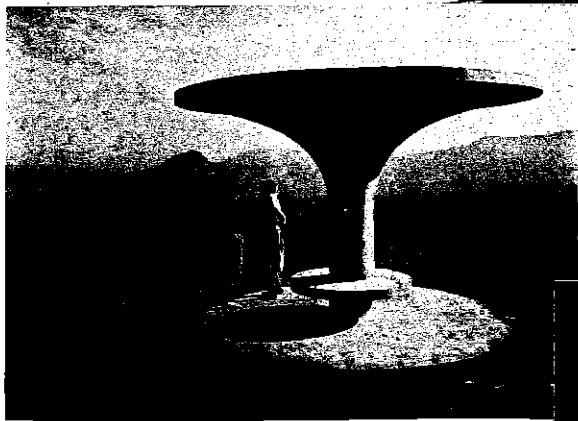
城島高原



ゴルフ場



高崎山自然動物園

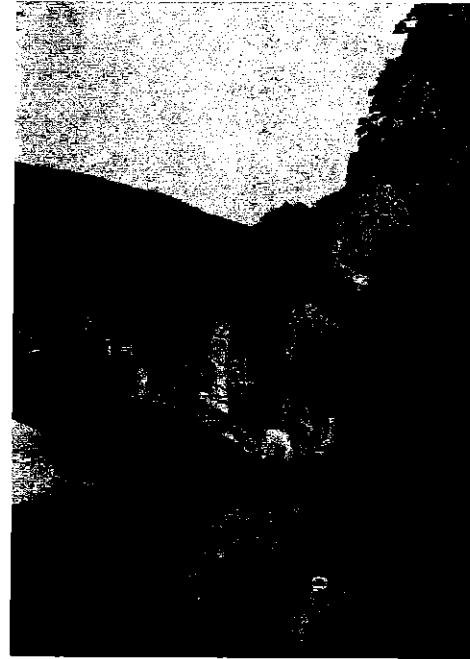


千文字原展望台から別府の遠望



冷味満点
由布川溪谷

衛星観光地

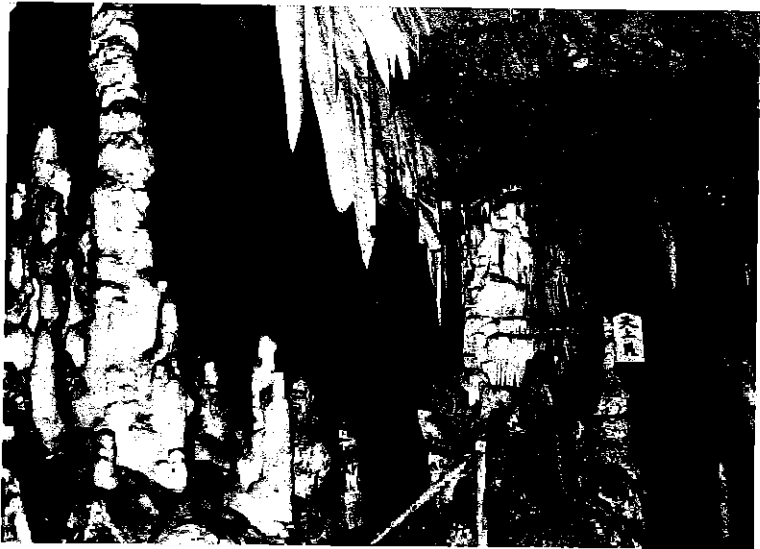


耶馬溪の景観

大分交通が日帰り観光コースとして
推奨する天下の景勝地。



青の洞門



風連鍾乳洞

別府周辺の日帰り観光コースとして
亀の井バスが定期観光バスの運行をしている。



白杵の石佛

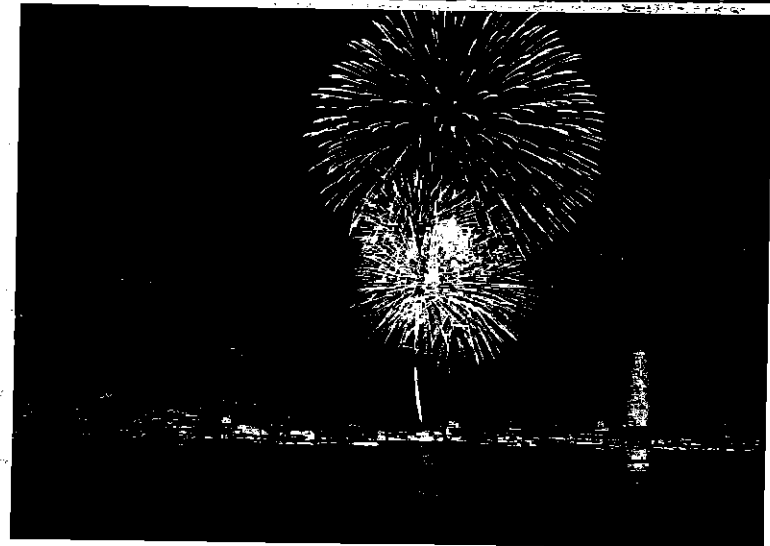
主な年中行事



別府毎日マラソン大会
(二月)



温泉まつり(四月)



納涼花火大会(八月)



夏まつり(七月)



納涼音頭大会(八月)



栗師まつり見立細工(八月)

あ と が き

1. この要覧は、本市のあらましを紹介するために昭和34年中の市政の主な事項と最近の統計資料を中心として編さんしましたが市勢の概要を知るうえに必要と思われるものはひろく外部からも資料をもとめました。
2. この要覧は、その内容にも種々不備な点が多いと思われるが各位の御批判と御指導をいただき逐次改善してゆきたいと思えます。
3. この要覧の編さんに際して御多忙中貴重な資料並びに御助言を寄せていただいた各方面に対し深く感謝の意を表します。

1960年版 別府市勢要覧

昭和35年3月15日 印刷

昭和35年4月1日 発行

(非売品)

編集 別府市長室調査統計係

発行 別府市役所

印刷 フタバ印刷社